

KOHAKU

『日本国内 正規総輸入販売代理店』

株式会社コハクジャパン

〒125-0032 東京都葛飾区水元3-22-23

TEL: 03-5876-5058

受付時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日等を除く）（9:00～17:00）



 Surron

<https://www.sur-ron.jp/> 

 Surron

**STORM
BEE** 

User Manual (日本国内版)

より良い乗り心地を楽しんでいただく為に、車両の走行を始める前にこの取扱説明書を必ずお読みください。電動バイクの特性を理解しないまま使用しないでください。この取扱説明書は大切に保管してください。

TO

SUR-RON 社でデザイン・製造された製品を
お選びいただきました全てのお客様へ

お客様の信頼、ご愛顧を心より感謝申し上げます。
皆様、共に最高級の電動バイクを実現させていきましょう。

お客様へ

私たちの製品をお買い上げいただきありがとうございます。
弊社製品をご使用いただきますお客様からのアドバイスやご提案を心からお待ちいたしております。
お客様のご満足こそ、弊社社員の全員が大切にしているところでございます。

SUR-RON 社は電動バイクの設計と製造におけるプロ集団です。斬新なデザイン、乗り心地の良さ、
容易な操作性、力強さ、1回の充電での長い走行距離、優れた安全制御機能と信頼性などの実現に
より電動バイクは環境負荷ゼロ時代の新しい乗り物に成長していきます。

お客様に、より良い乗り心地を提供する為に、走行を始める前に本マニュアルを必ずお読みください。
車両性能やメンテナンス手法の完全なご理解が、最高性能の保持、不具合などの最少化と車両
寿命の最長化を実現してくれます。お客様の大切な車両は、本車両の乗り方を理解していない方には
決して貸し出されないようお願いいたします。

車両に乗られる際には必ずヘルメットを装着し、正しい走行レーンにおいて交通法規を順守して走行
してください。

雪の日や滑りやすい路面に乗り出す場合には、安全の為、車間距離を充分にとって走行してください。

SUR-RON 社は電動車両の継続的な進化、改良の為、生産ロットの違う場合に仕様や使い方などに変更
を施す場合があることをご理解ください。また、本マニュアルの内容における文脈の最終的な判断は
SUR-RON 社が行います。

航続距離を伸ばす運転のコツ

電動バイク「Storm Bee」の航続距離は、ガソリンエンジンバイクに近いレベルになってきています。

バッテリーの消耗は運転の仕方、環境条件（極端な寒さや暑さ、急な坂道など）に影響されます。1回の充電で最大の航続距離を得るためには、一定の速度で走行することが有効です。一定の速度を保つことで、最大限の航続距離を確保することができます。

安全な走りを実現するためには、以下のようなことが必要です。

1. 頻繁に激しい加速や減速をしないこと。
2. スロットルの握りを緩めるとブレーキを使わず減速することができ、エネルギー回生ブレーキにより速度が低下し、回収されたエネルギーがバッテリーパックに戻されます。
3. タイヤの空気圧は推奨値に設定。タイヤ空気圧表（56ページ）
4. 不要な荷物を取り除き、積載量を減らす。
5. 冬期と夏期の走行距離には違いが生じます。

上記のいくつかの要素と自分の運転を組み合わせると、航続距離を安定させることができます。

注）オフロードでは、路面状況により走行距離が短くなります。



R オフロード版
E 公道版

使う前に

重要なお知らせ	1
運搬方法	2
安全運転のための条件	3
操作上の注意点	4～5
ラベル貼り付け位置	6
各名称	7～12
液晶パネルの紹介	13～16
液晶パネルの設定	17～19
システム機能の設定	20～21
コンビネーションスイッチ	22～24
パワーモードボタン	25
バッテリーの外し方	26
バッテリーの取り付け方	27
乗車前の点検	28
メインスイッチ/ハンドルロック	29
ハンドルロック	29

使う

走行準備からスタート	30～31
温度インジケータ	32
ABS（オプション）（アンチロック・ブレーキシステム）	33～36
サスペンション	37～39
バッテリーの管理	40
電源電圧と充電	41～42
動力システム	43

目次

メンテナンス	
ブレーキオイル	44
メンテナンス記録	44
定期的なメンテナンス	44
メンテナンスプラン	44
メンテナンススケジュール	45
重要な締め付けトルクのトルク管理	46～47
バッテリー	48
ブレーキシステム	49～51
水冷システム	52～53
ギアボックス	54
メンテナンスガイド	31
サスペンション	55
ホイールとタイヤ	56
チェーン	57～58
ヘッドライトの調整	59
ライトの交換	60
車両洗淨	60～61
車両の長期保管	61
パーツ	62
ヒューズ	62～63
車両電装システム	64

エラー対応	
Storm Bee点検について	65
暑さ・寒さ対策	65～66
バッテリー保護機能	67
Storm Bee注意事項	67
システム警告メッセージ	68
エラーコード表	69～70
エラー対応	71～73
保証条件と保証期間	74～78
アフターメンテナンス記録	79～84
仕様	85
保証書	86

■重要なお知らせ

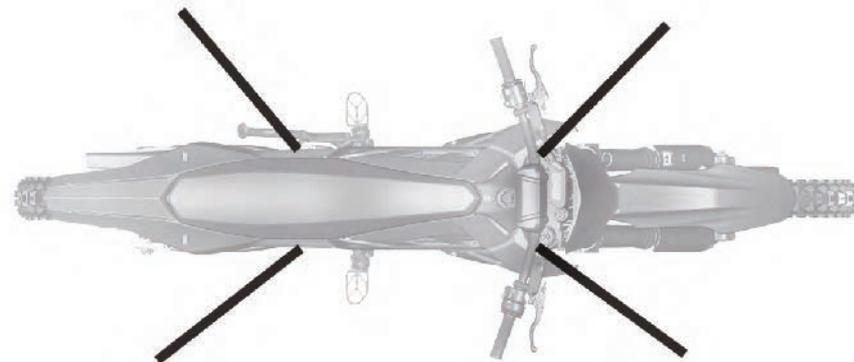
この度は SUR-RON 電動バイクをお買い上げいただきありがとうございます。より良い乗り心地を楽しんでいただく為に、走行を始める前にこの取扱説明書を必ずお読みください。電動バイクの特性を理解しないまま使用しないでください。この取扱説明書は、より理解を得るためのもので、その目的は、電動バイクの使用方法、整備方法、メンテナンス方法をより深く理解して頂くことです。車両を購入される場合は、この取扱説明書がバイクと一緒に納品されていることをご確認ください。バイクの操作やメンテナンスに問題がある場合は、正規販売店にご連絡ください。

警告

電源システムや充電方式に不具合がある場合は、メーカーが指定した正規販売店で修理してください。

■運搬方法

運搬時には、ラチェットストラップを使用してバイクを運搬フレームに固定し、しっかりとストラップをかけることをお勧めします。傷などのダメージを軽減するために、柔らかいストラップを使用することをお勧めします。ラチェットストラップは、図のように前2本をステアリングハンドルに、後2本を左右のフラットフォークチューブに固定し、チェーンとブレーキオイルのパイプを避けてストラップをかけることをお勧めします。ラチェットストラップは、できるだけバイクに対して45度の角度で固定してください。ラチェットストラップについては、メーカーの説明書に従ってください。



■安全運転のための条件

「Storm Bee」は、高性能なオフロードバイクであるため、取扱いには十分な注意が必要です。乗車時には、地域や国の規制に従って、ヘルメット、ゴーグル、ブーツ、手袋、保護服など適切な安全装備を着用してください。安全装備を着用することでけがのリスクを軽減させることができます。運転する前に、この取扱説明書に記載されているすべての警告と製品説明を読み、確実に理解するようにしてください。本車両の乗り方を理解していない方には決して貸し出されないようお願いいたします。

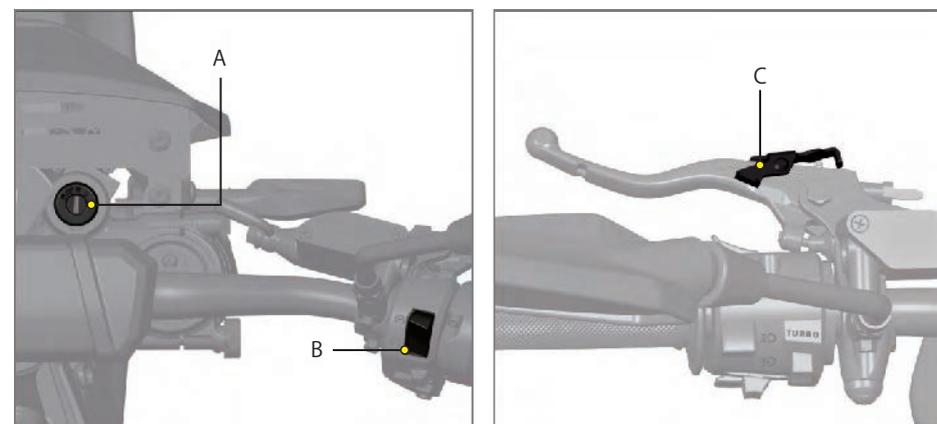
- ◎バイクを運転する法的資格があることを確認してください。
- ◎アルコールや神経系薬物を絶対に使用しないでください。
- ◎自分の行動に責任を持つことができない、あるいは持つ気がない方は使用しないで下さい。
- ◎本車両の運転は、お客様ご自身の責任で行ってください。
- ◎バイクスタンドを操作する際にもご自身の責任において行ってください。

販売者は、運転者の乱用や過失に対して責任を負いません。毎回使用前に30ページの「乗車前点検」ですべての要素を確認する必要があります。充電器のインジケーターに表示されているものはバッテリーパックの充電量です。「Storm Bee」の状態が良好であるかどうかで、お客様の安全が左右されます。本書に記載されているメンテナンス間隔スケジュール及び調整要件に従ってください。乗る前にしっかり確認すべきすべての項目の重要性を理解してください。

本車両の改造は、車両を危険にさらす可能性があり、重大な事故を引き起こす可能性があります。不正な改造についてはメーカーは責任を負いかねます。本車両に重いものを載せたり、アクセサリを追加したりするときは十分に注意してください。大きな荷物を積載した場合は、安全性や性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

■操作上の注意点

乗らないときは、必ずメインスイッチ (A) とキルスイッチ (B) を切ってください。乗降時に電源が切れていない場合、事故が起こる可能性があります。バイクを押ししたり移動させたりするときは、キルスイッチ (B) をオフにしてください。坂道に駐車するときは、ブレーキまたはパーキングブレーキ (C) を使用してください。ハンドルバーを回転させて車両を停止させることは、車両が後方に滑る原因となりますのでおやめください。



■操作上の注意点

使用した後は、毎回バッテリーを充電してください。

充電後は充電器との接続を解除してください。

充電は必ず安全な場所、または監視の下で行ってください。

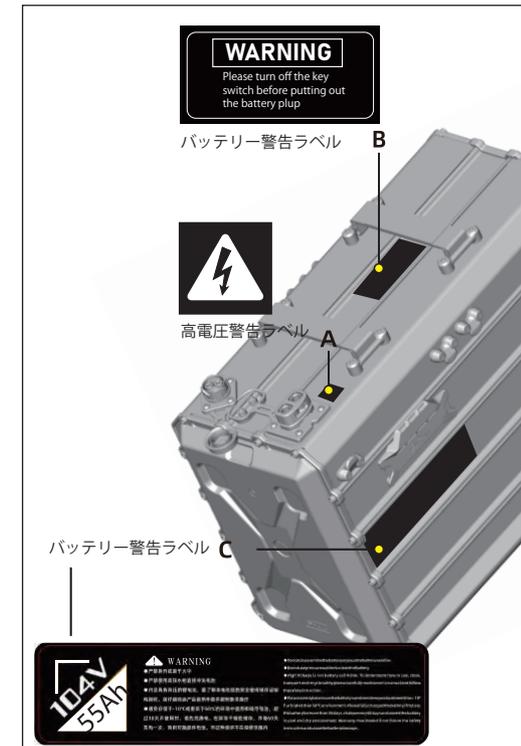
専用充電器などの電子機器は消費電力が少なく、バッテリーの消耗も非常に緩やかです。長期間（30日以上）乗らない場合は、満充電にする必要があります。

バッテリーを低充電量で長期間保管すると、劣化することがあります。

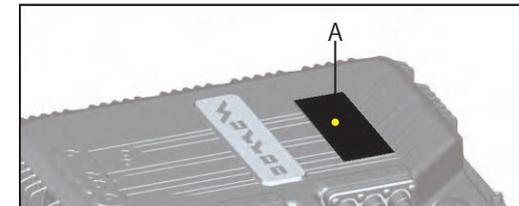
----- 注意 -----

充電器・バッテリーは、純正品またはメーカー認定のものだけを使用してください。バッテリーの寿命を最大限に延ばすには、走行後速やかに充電してください。放電を頻繁に行うと、バッテリーパックの寿命に悪影響を及ぼします。本書に記載されているバッテリーパックの保管および充電に関する指示に従わない場合、保証が無効になることがあります。このガイドラインは、バッテリーが最大限の性能を維持できるよう定めています。

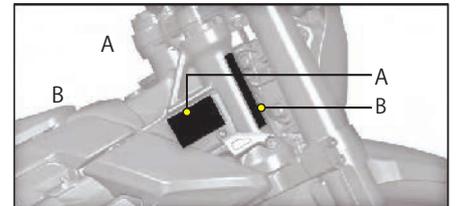
ラベル貼り付け位置



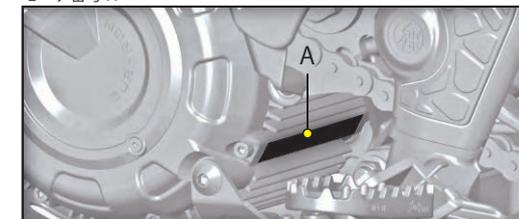
コントローララベル A



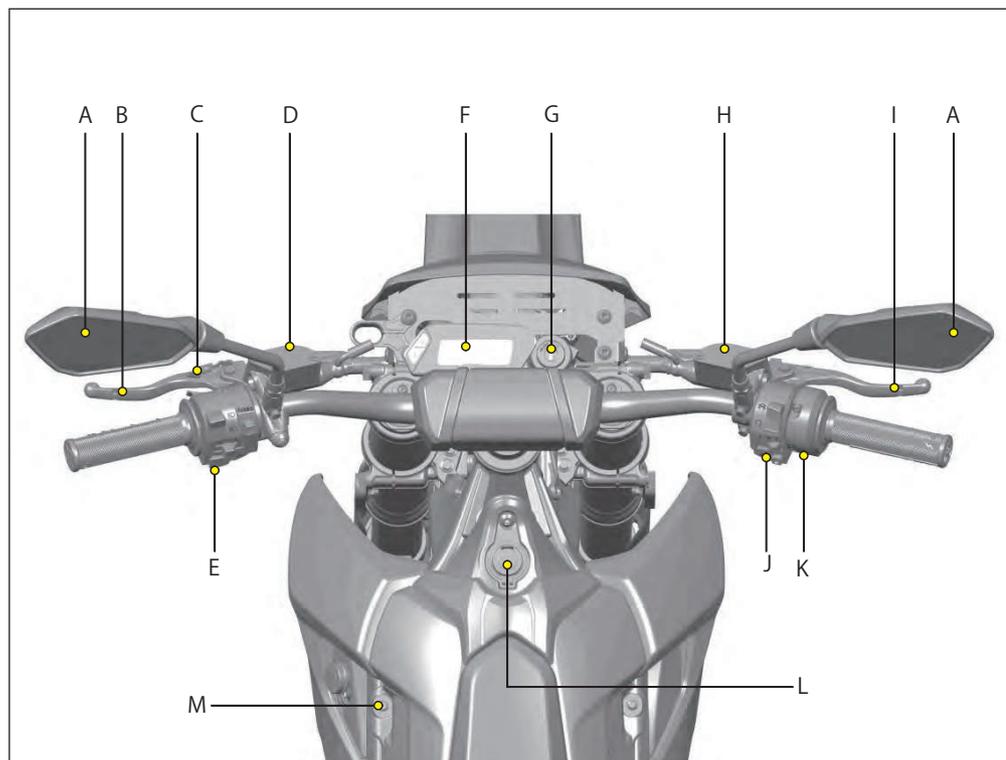
フレームプレート A、フレーム番号 B



モータ番号 A

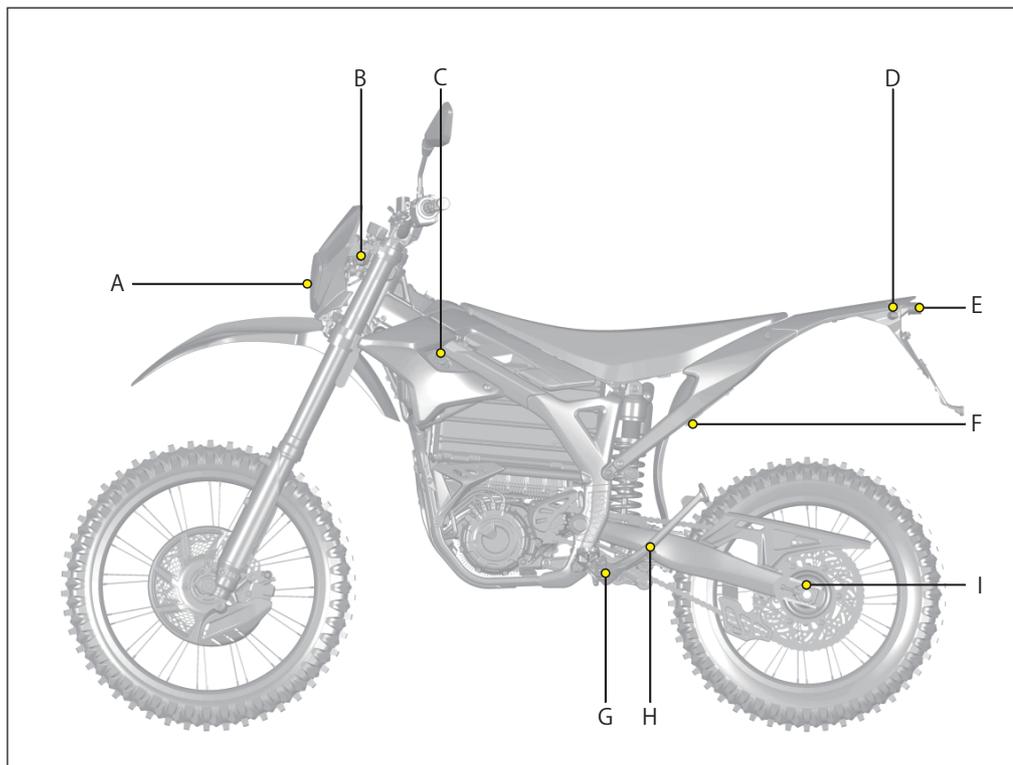


各名称



- A. 後方ミラー
Storm Bee 用ミラーは、均一な曲面を持った凸面鏡です。
- B. リアブレーキレバー
22 ページをご参照下さい。
- C. パーキングブレーキ
25 ページをご参照下さい。
- D. リアブレーキアッパーポンプ
49 ページをご参照下さい。
- E. 左コンビネーションスイッチ
22 ページをご参照下さい。
- F. 液晶パネル
13 ページをご参照下さい。
- G. メインスイッチ／ターンシグナルスイッチ
29 ページをご参照下さい。
- H. フロントブレーキフルードタンク
49 ページをご参照ください。
- I. フロントブレーキレバー
24 ページをご参照下さい。
- J. 右コンビネーションスイッチ
24～25 ページをご参照下さい。
- K. 電子スロットル
24 ページをご参照下さい。
- L. USB インターフェース
5V2.4A 標準の USB インターフェースです。
- M. シートクッションの取付けネジ
26 ページをご参照ください。

各名称



注意

バイクは平面で固い場所のみ駐車してください。

A. ヘッドライト

ヘッドランプの交換については、60 ページ をご参照下さい。
ヘッドライトの光軸調整については、59 ページをご参照下さい。

B. フロントターンシグナル

操作方法 23 ページをご参照下さい。
ターンシグナルライトの交換については、60 ページをご参照下さい。

C. 充電器接続ソケット

41 ページをご参照下さい。

D. リアターンシグナル

ターンシグナルライトの交換については、60 ページをご参照下さい。

E. テールランプ、ライセンスランプ

交換方法については、60 ページをご参照下さい。

F. サイトスタンド固定ベルト

このスイッチは、サイドスタンドが下りているときに不用意にモーターが作動しないようにするための安全機能です。
走行中にサイドスタンドを下ろすと、地面に接触して制御を失い、重大事故を引き起こす可能性があります

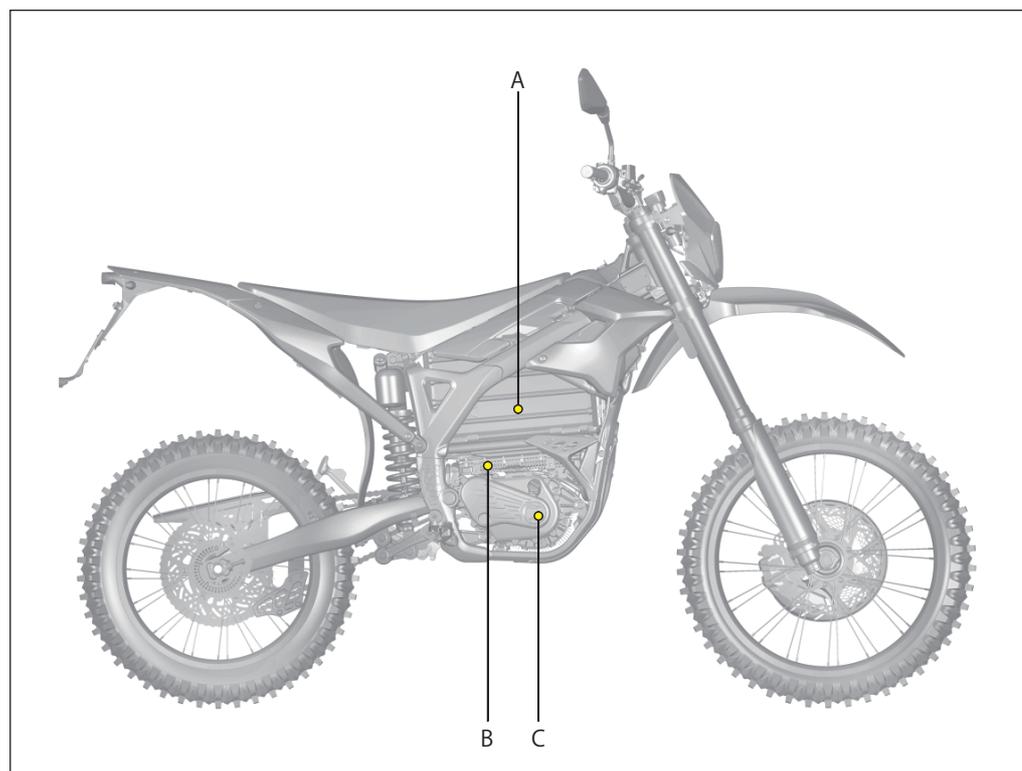
G. サイドスタンドスイッチ

駐車時に車両を支えるために使用します。駐車時のメインスイッチはオフの状態である必要があります。

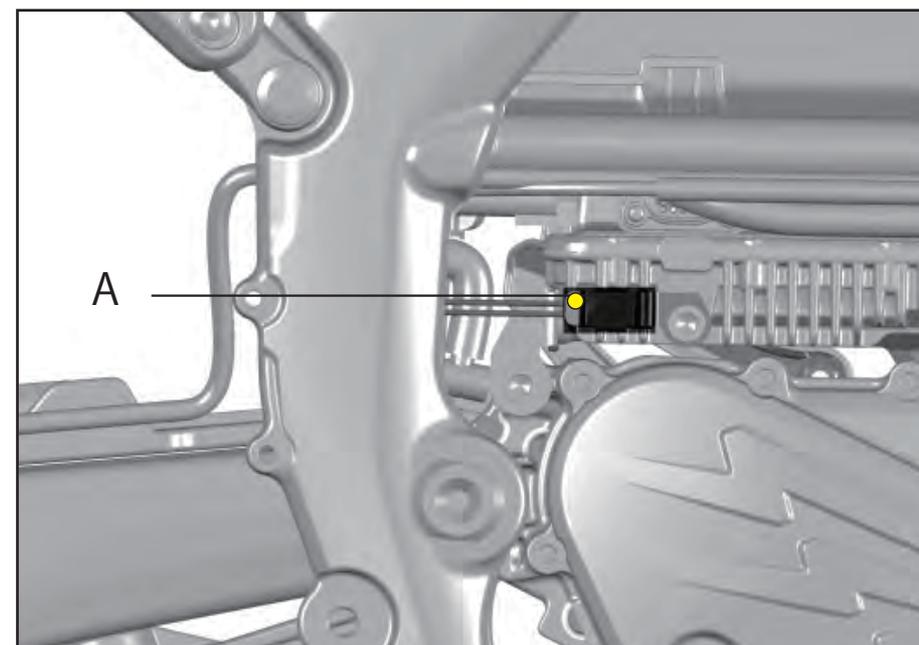
H. チェーンアジャスター

チェーンアジャスターは左右に配置されています。58 ページをご参照下さい。

各名称

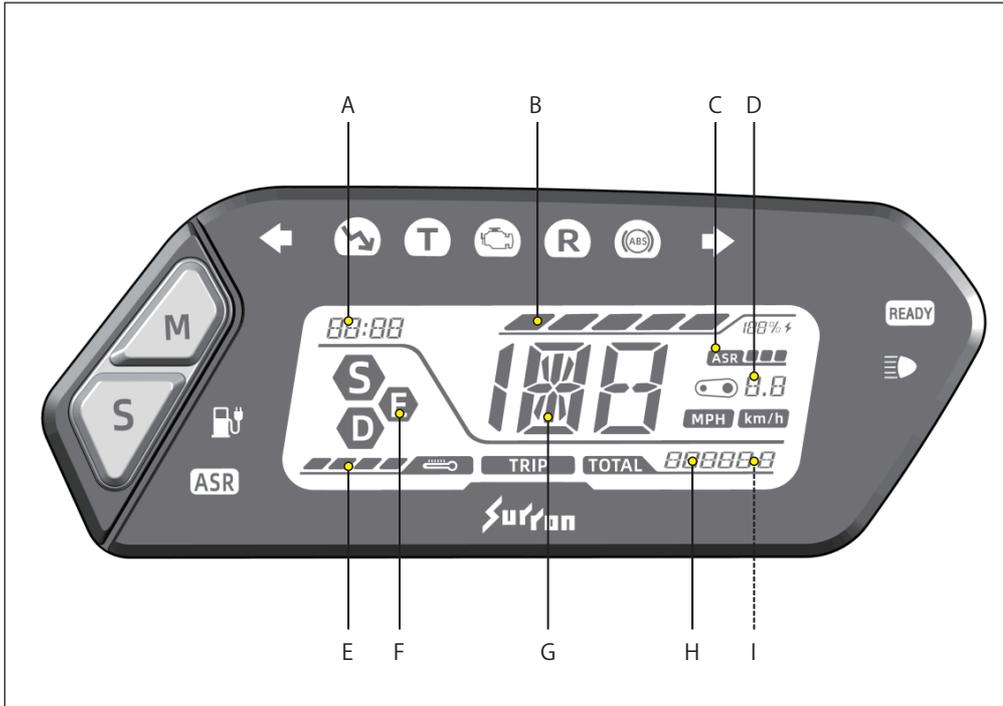


- A. バッテリー
26～27ページをご参照ください。
- B. コントローラー
- C. モーターとギアボックス
54ページをご参照ください。



- A. 温度センサー
水冷システムの制御用のコントローラーの温度状態を監視するためのセンサーです。

液晶パネルの紹介



A. 時間表示

24 時間形式で、現在の時刻を表示します。

B. バッテリー表示

バッテリーの充電残量を表示します。

C. ASR ギアポジション表示

ASR の現在のギアを表示し、表示されない場合は ASR がオフの状態です。

D. 変速比係数表示

変速比係数を表示します。

E. 温度表示

液晶パネルの右側にあり、モーター温度、コントローラー温度、バッテリーパック温度を表示します。いずれかの部品の温度が設定温度を超えると、温度インジケータが点滅します。操作方法は 32 ページ「走行前準備からスタート」をご参照下さい。

F. パワーパフォーマンスモード

パワーモード (S スポーツモード、E エコモード、D ドライブモード) に対応して表示されます。電源モードボタンは、右コンビネーションスイッチにあります。操作方法は、25 ページをご参照下さい。

G. スピードメーター

スピードメーターは、km/h (キロメートル毎時) または MPH (マイル毎時) で表示します。操作方法は、18 ページをご参照下さい。

H. オドメーター表示

走行距離 (km) を表示します。

I. エラーコード表示

車両に故障が発生した場合、対応する故障コードが液晶パネルに表示されます。故障コードの詳細については、69 ~ 73 ページをご参照下さい。

液晶パネルの紹介

A. 左ウィンカー表示灯

左ターンスイッチをオンにすると、緑色に点滅します。



B. 電力制限表示灯

モーターの動作状態を示しています。

点滅は電力が制限されようとしていることを意味し、点灯している時は、電力が制限されていることを意味します。



C. TURBO モード表示 (T)

TURBO モードの動作状態を示しています。

消灯している時は、TURBO モードが使用できないことを示します。

点灯している場合は TURBO モードが使用可能であることを示します。

ゆっくり点滅している時は TURBO モードが作動中です。

速く点滅している時は TURBO モードがもうすぐ終了することを示しています。



D. システム警告表示

システム障害が検出された時は、オレンジ色が点灯します。

エラーコードの詳細については 69～73 ページ「トラブルシューティング」をご参照ください。



E. リバースギア表示 (R)

リバースギアモードの時に点灯します。

リバースギアモードで走行時は点滅します。

リバースギアモードを終了すると消灯します。



F. ABS オプション (アンチロック・ブレーキ・システム)

ABS システムが故障している時は点灯し、オフモードのときには点滅します。操作方法は、36 ページをご参照下さい。



G. 右ウィンカー表示灯

右ターンスイッチがオンの時、緑色に点滅します。



H. ローバッテリー表示

バッテリーの残量が少なくなると (SOC < 20%) 点滅し、充電量が極端に少なくなった場合 (SOC < 10%) 点灯しています。



I. ASR (トラクションコントロールシステム) 表示灯

ASR 機能のオン / オフは、ASR スイッチで行います。

それに応じて ASR 表示灯が点灯・消灯します。

ASR 表示灯が点滅している時は、スピードセンサー信号が異常で、ASR 機能が異常状態であることを示しています。車速センサーとマグネットプレートの間隙が 0.8～1.2mm 以内であり、異常がないことを確認してください。



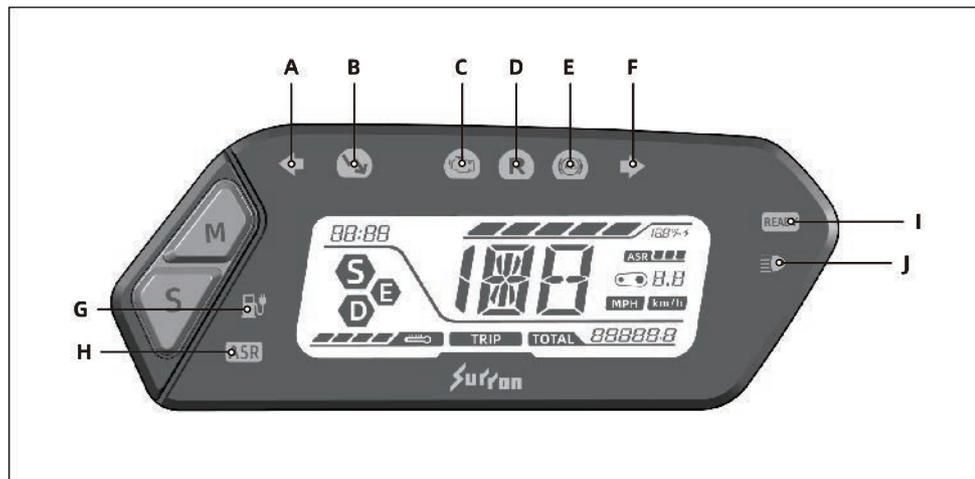
I. Ready 表示

バイクが走行可能な状態にあることを示します。



J. ハイビーム表示灯

ヘッドライトのハイビーム点灯時、点灯します。



液晶パネルの設定

機能や表示を自由にカスタマイズすることができます。

A と B と右のコンビネーション C を同時に押すと液晶ディスプレイの設定ができます。

A. 液晶ディスプレイの調整ボタン (M)

M ボタンを短く押すと、画面表示がリセットされ、機能メニューに切り替わります。

B. 機能選択ボタン (S)

機能メニューに入った後、S ボタンを使って、対応する機能メニューを選択することができます。

C. (R/S) マルチファンクションスイッチ設定ボタンシステムファンクションモード

(24 ページを ご参照ください)。

R/S ボタンで各機能を設定することができます。

通常走行中は ASR の切り替えを行うことができます。



走行距離表示

1. メインスイッチが入っていて、速度が 0km/h のときに M ボタンを押すと、総走行距離 **TOTAL** と小走行距離 **TRIP** の切り替えができます。
2. TRIP 画面では走行中に現在速度が表示され、停止中に最高速度が表示されます。

走行距離と最高速度のリセット方法：

TRIP 画面が今回の走行距離を表示している時、S ボタンを 2 秒以上押し続けると TRIP 走行距離と最高速度が消去されます。



速度表示

距離計の単位切替方式

1. メインスイッチをオンにする前に、2 秒以上 M ボタンを押し続けることにより、キロメートルとマイルの単位を切り替えられます。
2. マイルに切り替えた場合の表示は MPH **MPH**
3. キロメートル単位に切り替えたときの表示は Km/h **km/h**

液晶パネルの設定



変速比係数の表示

変速比係数の設定：

メインスイッチをオンにする前に S ボタンを 2 秒以上押し続けると、変速比の設定モードに入ります。この際に " 8.8 " 表示が点滅、S ボタンまたは M ボタンを押して変速比を調整します。S ボタンで 0.1 ずつ減少、M ボタンで 0.1 ずつ増加し、設定完了後、M ボタンを 2 秒以上押し続けると保存されます。(5 秒以上操作がない場合は自動保存されます。)

----- 注意 -----

液晶ディスプレイの速度表示が実際の車速より速い場合は、変速比を小さく調整する必要があります。逆の場合は大きくします。

----- 警告 -----

変速比の設定は変更しないでください。(工場出荷時は 1.0)

液晶パネルの設定



時間表示

時刻設定方法：

メインスイッチをオンにし、M ボタンを 2 秒以上押し続けると、時刻設定モードになります。

M ボタンを短く押し、「〇時」を設定した後再度 M ボタンを押し「〇分」を設定します。

「〇時」：設定モードで S ボタンを押すと 1 時間増加し、S ボタンを長押しすると素早く時間が増加します。(ボタンを離すと停止) 「〇時」設定が完了したら M ボタンを押して保存します。

「〇分」：設定モードで、S ボタンを押すと 1 分ずつ増加し、S ボタンを長押しすると素早く分数が増加します。(ボタンを離すと停止) 設定が完了したら M ボタンを押し保存して終了します。

ASR 表示説明	
	表示なし (ASR OFF)
	表示 (ASR モード 1)
	表示 (ASR モード 2)
	表示 (ASR モード 3)

ASR レベル表示：

ASR ボタンで ASR 機能を設定し、レベルを設定すると表のように、

本機の ASR 表示が切り替わります。



システム機能の設定

システム機能の表示：

注：エリア A にはアルファベットが表示されます。(機能モードにより異なるアルファベット) エリア B には数字が表示されます。(機能モードにより異なる数字)

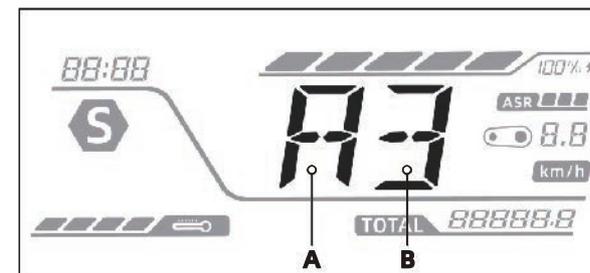
システム機能モード設定

停止中にメインスイッチをオフにし、スタンドが下りた状態で、

M ボタンと S ボタンを同時に 2 秒以上押すと、システム機能設定モードになります。

操作方法は下記となります。

- 1.R/S ボタンを押すと、システムのメインメニューに入る。
- 2.R/S ボタンを長押しで、メインメニュー中のサブメニューに入るかひとつ前のメニューに戻ります。
- 3.1 次メニュー表示方法：点灯
- 4.2 次メニュー表示方法：点滅



具体的に実現できる機能：

1. ブレーキエネルギー回生機能のギアの設定 (B0、B1、B2、B3、B4、B5)。工場出荷時は B2(B0 はオフ、B1 ~ B5 は数字が上がる毎に強くなります)
2. スライドエネルギー回生機能のギア設定 (E0、E1、E2、E3、E4、E5)。工場出荷時は E3(E0 はオフ、E1 ~ E5 は数字が上がる毎に強くなります)
3. ASR 機能設定 (A1、A2、A3)。工場出荷時は A2 (A1~A3 は数字が上がる毎に強くなります)

システム機能の設定

具体的に実現できる機能：

4. ブレーキ時パワーオフ機能開始/停止設定 (P0、P1)。
工場出荷時は P1 (P0 がオフで P1 がオンの場合)
5. 転倒時パワーオフ機能開始/停止設定 (C0、C1)。
工場出荷時は C1 (C0 がオフ、C1 がオンの場合)
6. 故障診断通信設定 (T0、T1)。
工場出荷時は T0 (T0 がオフ、T1 がオンの場合)
7. 電子スロットル設定 (F1、F2、F3)。
工場出荷時は F1 (F1 ~ F3 数字が上がる毎に強くなります、スポーツモードのみ効果あり)
8. メインメニュー戻る (X)

システム機能終了

1. 電源をオンにし、スタンドをあげると機能の設定を停止します。
2. 10 秒以上操作がない場合は自動終了します。

----- 注意 -----

バッテリーの寿命と安全性の為、電力が 95%以上およびバッテリーの温度が 50 度以上の場合、エネルギー回生機能が制限されます。

----- 警告 -----

オフロード環境での使用には、転倒センサーをオフにすることをお勧めします。ジャンプ中の姿勢によっては転倒誤検知となり、パワーオフとなることを回避する為です。

コンビネーションスイッチ

A. リアブレーキレバー

レバーを握ると、ブレーキが制御され、同時にブレーキランプも点灯します。

B. 停車時

坂道で停車する際は、車両が滑らないようにリアブレーキをロックしてください。操作方法については、25 ページをご覧ください。

C. ASR スイッチ (トラクションコントロール) ボタン

左コンビネーションスイッチの前にある ASR スイッチと右コンビネーションスイッチの R/S ボタンがトラクションコントロール機能の設定です。

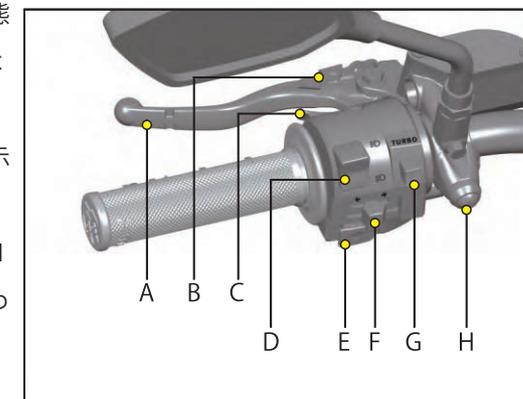
(1) ASR スイッチと機能選択ボタン：左コンビネーションの後ろに配置、タッチ式トリガータイプのスイッチです。

- ① スイッチを押さない：ASR オフ
- ② スイッチを押す：ASR オン、ASR ギア設定へ
- ③ 短押し 3 回連続：ASR がオンになり、ASR ギア設定がロック状態になります。連続オンとオフを切り替えられます。さらに 3 回短押しが続くと、再び ASR が OFF になります。

(2) R/S マルチ機能スイッチは、右コンビネーションスイッチの前面に配置された

タッチ式ボタンです。非設定状態では、R/S マルチ機能スイッチは ASR ギア切り替えができます。

- ① 短押し：現在の ASR ギアを表示します。
- ② 短押し 2 回連続：ASR ギアが 1 回ずつサイクリックに切り替わる (A1 ~ A3 表示)。



コンビネーションスイッチ

D. ヘッドライトハイビーム/ロービームスイッチ

スイッチを押すと、ヘッドライトがロービームからハイビームに切り替わり液晶パネルのハイビームインジケータが点灯します。スイッチを戻すまで、選択した位置のままです。

E. ホーンボタン

メインスイッチがオン状態にあるとき、ボタンを押すとホーンが鳴ります。

F. ターンシグナルスイッチ

ターンシグナルスイッチを左右に押すと、対応するフロントとリアのターンシグナルが点滅します。車とは違い、バイクでは、信号は必ず手動で解除する必要があります。スイッチを押すと、オフの位置（中央）に戻ります。

G. Turbo ボタン

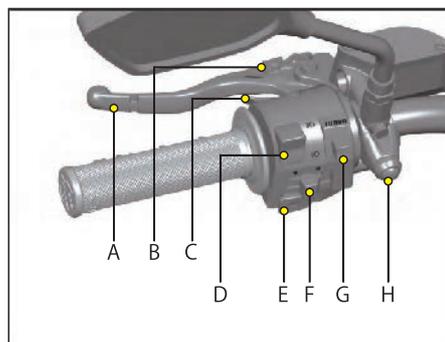
Turbo ボタンは、左コンビネーションにある赤いボタンです。スポーツモードの時に Turbo ボタンを押すと、瞬時に最大限のパワーを発揮します。

Turbo ボタンはスポーツモードでのみ使用可能です。

Turbo インジケータは常に点灯しています。

Turbo スイッチを押すと、Turbo モードになり、Turbo インジケータが点滅します。

Turbo が一定時間（約 10 秒）作動すると 10 秒後に自動的に終了し、Turbo ランプが消灯して通常モードに戻ります。

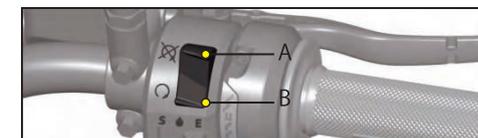


H. ABS（オプション）スイッチ

操作方法は 35 ページ「起動と操作」をご覧ください。

I. キルスイッチ

スイッチの上部 A を押すと、電源がカットされます。すぐ下の B が押されるまで、電源カット状態を維持します。



J. パワーモードボタン

操作方法は、25 ページ「機能の紹介」をご覧ください。

K. R/S マルチ機能スイッチ（リバースと ASR クイック設定）

リバースギア操作モード：

電子スロットルを緩め車速をゼロにしたとき、R/S 機能ボタンを押し続けると、液晶ディスプレイのリバース表示灯 R が点灯し、リバースギアモードになります。

R/S ボタンを押しながら電子スロットルを捻ることで車両がバックします。

R/S ボタンを離して電子スロットルを緩め車速がゼロになったらリバースギアモードが解除されます。その際に車両が振動します。

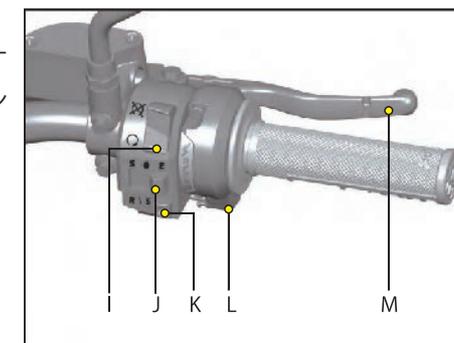
ASR ギア設定は 22 ページ「機能の紹介」をご覧ください。

L. 電子スロットル

スポーツモードの設定方法は 25 ページをご覧ください。

M. フロントブレーキ

ブレーキレバーを握ると、フロントブレーキシステムを制御し、同時にブレーキランプも点灯します。

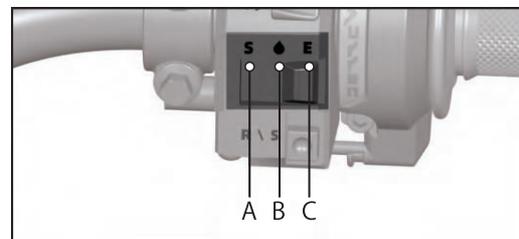


パワーモードボタン

パワーモードにはスポーツモード (S)、ドライブモード (D)、エコモード (E) があり、走行中にパフォーマンスモードの切り替えが可能です。

A. スポーツモード (S)

高い出力と加速性能が得られます。
このモードは、車両に慣れてから使用することをお勧めします。



B. ドライブモード (D)

パワー加速がよりソフトになり、日常の移動に適しています。

C. エコモード (E)

パワーや加速がソフトになり、走行距離を伸ばすことができます。

パーキングブレーキ操作

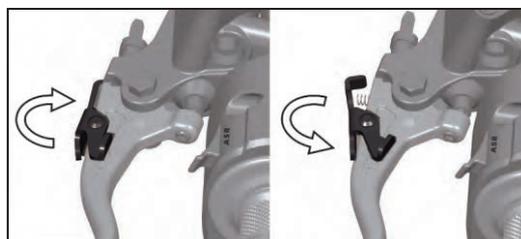
「Storm Bee」には、パーキングブレーキが搭載されています。
パーキングブレーキを使用することで、前方・後方への移動を抑制することができます。

A. パーキングブレーキのかけ方

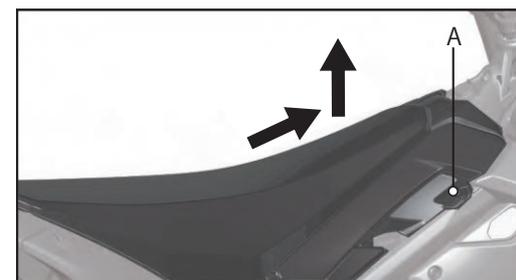
ブレーキレバーを握り、パーキングブレーキレバーをブレーキレバーの隙間に押し込んでください。

B. パークブレーキの解除

ブレーキハンドルを握ると自動的に解除されます。

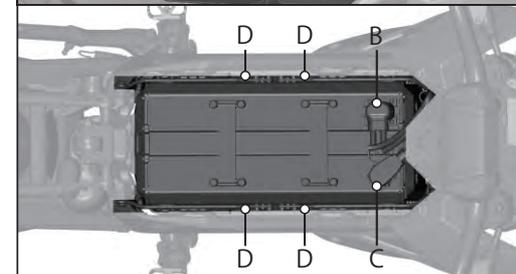


バッテリーの外し方



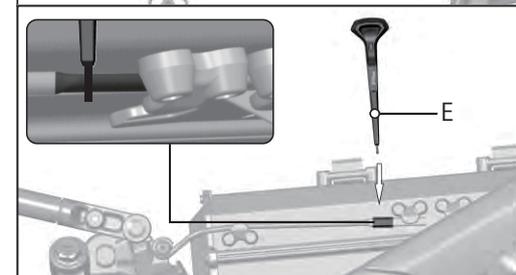
1 工具を使用して、シートクッションから2つの取付けネジ (A) を取り外します。

2 シートクッションを前方にずらし上に取り出します。



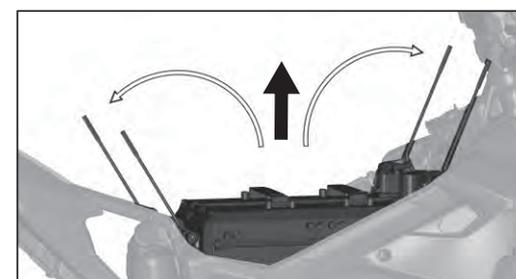
3 電源通信プラグ (B) を外し、次にバッテリーの通信通信プラグ (C) を外します。

4 専用工具 (E) を使い、バッテリーホルダー (D) を外します。

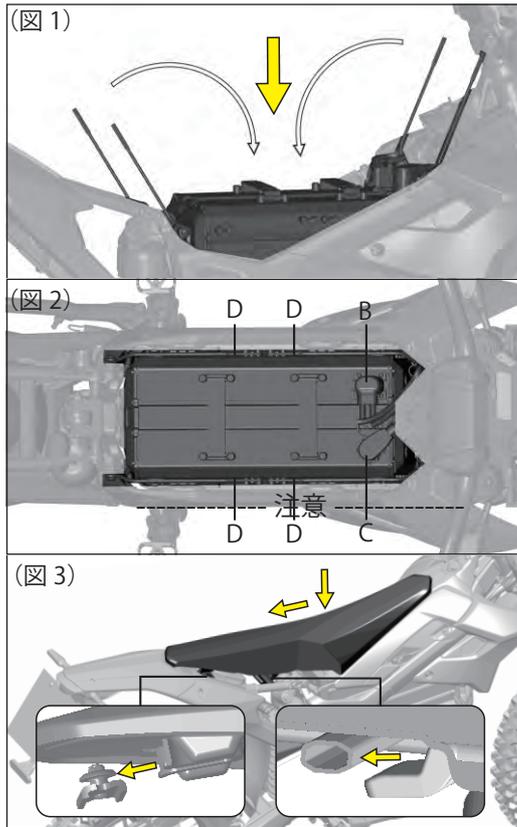


5 バッテリーパックを上向きに取り出します。

----- 注意 -----
バッテリーの取外し、取付けには専用工具 (E) が必要です。



バッテリーの取り付け方



1. バッテリーをバッテリーケースに入れます。(図1)
2. 専用工具でバッテリーホルダー (D) にバッテリーを固定します。
3. バッテリーパックの電源通信プラグ (BC) を先に取り付けてから、通信プラグ (CB) を取り付けます。(図2)
4. シートクッションを下向き車両に装着し、シート先端の固定スロットを後方矢印の方向へ押し込む。
シート裏中央のフックを車両に嵌めます(図3)
5. 工具を使用して、シートクッションを2つの取り付けネジ (A) で取付けます。

----- 警告 -----

バッテリーを取り外す前に、メインスイッチがオフになっている必要があります。
必ずオフになっていることを確認して下さい。

図1：通信プラグ (B) と電源プラグ (C) の取り付け順番を変更しないでください。
取り付け順番を間違えると、重大事故の原因となることがあります。

乗車前点検

「Storm Bee」を運転する前に、次のことを確認してください。

- バッテリー
液晶ディスプレイのバッテリー表示が、十分な電力を示していることを確認してください。使用環境により航続距離が異なる場合があります。使用する前に、充電してから使用することをお勧めします。
- チェーン
チェーンの張りと磨耗を確認してください。必要に応じてチェーンを交換してください。(57 ページ)
- ブレーキの制動
ブレーキレバーを握り、ブレーキで完全に車輪をロックできるかを確認してください。
- 電子スロットル
メインスイッチをオフにした状態で、スロットルがスムーズに動くか、正しく戻るかを確認してください。
- タイヤ
前後のタイヤの空気圧と溝の深さを点検してください。タイヤの空気圧をチェックし、適正な空気圧を維持します。タイヤの外側に損傷や異常磨耗がないかを確認します。(56 ページ)トレッドウェアマークまで磨耗したら、すぐにタイヤを交換して下さい。
- 電気システム
ヘッドライト、ターンシグナルスイッチ、ブレーキライト / テールライトが正常に機能しているかを確認してください。

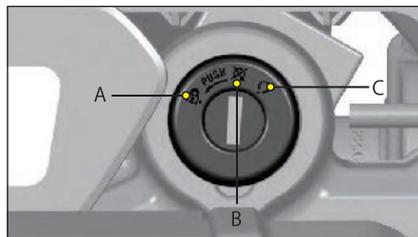
----- 注意 -----

タイヤの空気圧が間違っているとタイヤの破裂、トレッドの剥離、車両の制御不能により、重大な事故が発生する恐れがあります。定期的にタイヤの空気圧が適切であることを確認してください。

メインスイッチ / ハンドルロック

メインスイッチには3つのポジションが設置されています。
スイッチの位置は以下の通りです。(オフロード仕様の場合は2つのポジションスイッチ)

- A ハンドルロック (オフロード仕様には設定なし)
- B オフ
- C オン



盗難防止のため、停車には鍵を取り外してください。
鍵は、オフまたはハンドルロック位置で取り外すことができます。

ハンドルロック

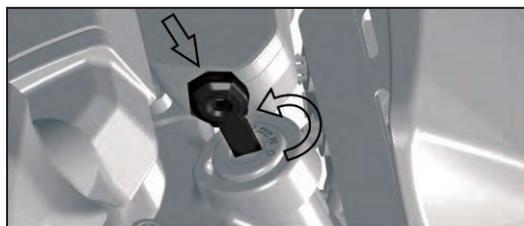
駐車時にハンドルロックを使用することで、不正な使用を防止し、盗難防止になります。

ハンドルロック

ステアリングコラムの下の後ろにある2ポジションスイッチです。

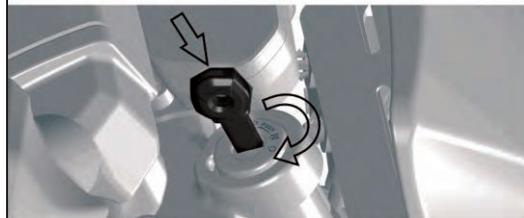
ハンドルロックの操作：

1. ハンドルバーを左に限界まで回します。
2. キーが電源オフの位置から、押しながら反時計方向へ回します。
3. キーを取り外します。



ハンドルロックの解除：

1. キーを差し込み時計回りに回します。
2. キーを取り外します。



走行準備からスタート

- ・オフポジション
電源を切り、電気システムを停止させることができます。
- ・オンポジション
オンにすると、ヘッドライトと液晶パネルが点灯します。

安全運転の方法：

起動

1. メインスイッチをスタート位置まで回します。
2. 液晶ディスプレイのバッテリー残量表示を確認します。
3. キルスイッチをオフにします。
4. 左ブレーキレバーを軽く握り、パーキングブレーキロックが解除されていることを確認します。
5. 周囲に障害物や通行車両がないことを確認し、サイドスタンドを収納します。ブレーキレバーを軽く握ると READY モードに入り、液晶ディスプレイに READY ランプが点灯します。READY ランプが点灯すると、電子スロットルを捻ることで発進します。

制動ブレーキ

ブレーキは、左右のハンドルにあります。
右のブレーキレバーを握ると、フロントブレーキを制御します。
左のブレーキレバーを握ると、リアブレーキを制御します。

走行準備からスタート

----- 注意 -----

ブレーキエネルギー回生機能とブレーキ時パワーオフ機能を同時に行った場合ブレーキレバーを握るとパワーシステムが電氣的にオフになり、モーターのエネルギー回収率が高いほど、モーターの抵抗力は高くなります。

----- 警告 -----

ABS（オプション）が無効または動作しない場合にブレーキを強く握るとタイヤのロックによって制御不能に陥ることで、車体をコントロールをできなくなり、事故死亡や負傷になる恐れがあります。

ブレーキを徐々に制御しコントロールされた操作を行うことで、ロックすることなく徐々に停止することができます。

パワーが強いため、安全な走行練習と緊急停止練習をすることをお勧めします。

停車

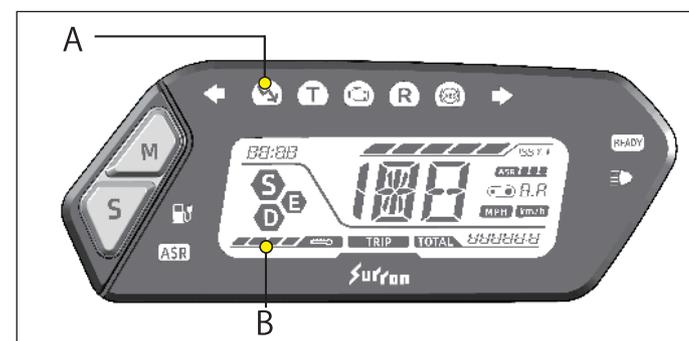
1. 電子スロットルを戻した状態で、キルスイッチでパワーをオフにしてください。
2. 車両が横転しないようにサイドスタンドを下ろします。
3. メインスイッチをオフにし、キーを抜き取ります。
4. 坂道で停車時、パーキングブレーキをロックしてください。（平坦な場所でも傾斜のある場所でも、停車の際にはパーキングブレーキを使用することをお勧めします。）

----- 警告 -----

乗車後は毎回バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合は速やかに充電してください。

温度インジケータ

高出力・高速運転を長時間継続すると、モーターやコントローラーの温度が高温になることがあります。そのため、本車両は、空冷式モーターと水冷式コントローラーの温度をモニターしています。各コンポーネントの温度を監視し、包括的な温度管理によってそれらが適切に機能するようにします。



液晶ディスプレイの温度表示 B は、車両パワー系部品の温度を表示します（バッテリー、モーター、コントローラー）。

走行すると、温度バー B が示す温度が徐々に増えていきます。

車両の使用状況に応じて、車両のパワー系部品の温度が保護基準値を超えると、温度表示バー B が点滅します。かつ液晶ディスプレイの上部のパワーリミットインジケータ A も点滅し、高温保護モードに入ります。（出力制限になる）。

ABS（オプション）（アンチロック・ブレーキシステム）

警告

ABS（アンチロック・ブレーキシステム）は緊急状況でブレーキ制御と走行時の安全性を最大限に確保します。特定の条件下で ABS は制動距離を短縮する効果があります。

警告

道路の法定速度内で安全運転してください。

警告

走行中は慎重に曲ってください。

旋回中ブレーキをかけると、ABS が慣性と遠心力を相殺できなくなることがあり、事故につながる可能性があります。走行条件や環境によっては、ABS の制動効率が低下し、制動距離が ABS 無しと同等の状態になる場合があります。

ABS（オプション）（アンチロック・ブレーキシステム）

ABS 機能 ON/OFF の切り替え条件

1. 車両が電源オン状態であること。
2. 車体の前後輪の速度がゼロであること。
3. 車両が非診断モードであること。

ABS 機能の操作方法

1. 電源が入る際に、ABS がオンになります。
2. ABS がオフのときは ABS 警告灯が 1.2 秒の頻度で点滅し、ABS がオンのときは ABS 警告灯が消灯します。
3. ABS スイッチを 3 秒以上押し続け、5 秒以内に離さない場合、モードスイッチの要求は無視され、ABS は現在の状態のままとなります。
4. ABS スイッチを 30 秒以上押すと、ABS のコントローラーはエラーとして判断します。ABS はオン状態に戻り、ABS インジケータランプは点灯し ABS オフ機能は、電源を入れ直したときのみ使用可能です。

ABS を無効にする

1. サイドスタンドを降ろします。
2. キルスイッチをオフの位置にします。
3. メインスイッチをスタート位置まで回してください。
4. ABS ボタンが 3 秒以上押し続けられ、5 秒以内に離すと ABS 機能が完全にオフになり、ABS インジケータランプがゆっくりと点滅し続けます。

ABS（オプション）（アンチロック・ブレーキシステム）

ABS の再稼働

1. キーを戻すたびに、ABS システムが作動します。
2. ABS システムの作動と解除は、同じ操作で、ABS システムをオン、オフができます。

ABS 表示灯

1. ABS が故障を感知すると、ABS 故障インジケータが点灯します。故障が解消されると、現在のイグニッションサイクルまたは次のイグニッションサイクルで車速が 5 km/h に達したときに ABS 指示ランプが消灯します。
2. ABS がオンになっていて、本車両が速度 5km/h に達すると、ABS 指示ランプが消灯します。
3. ABS がオフのとき、ABS 指示ランプが 1.2 回 / 秒の頻度でゆっくり点滅します。
4. ABS スイッチを押すと、ABS 指示ランプが 1.2 回 / 秒の頻度で点滅します。ABS スイッチを 30 秒以上押し続けると ABS 指示ランプが常に点灯します。
5. ABS が診断モードのとき、ABS 指示ランプが点灯します。

注意

ABS を無効にすると、「Storm Bee」は ABS のないバイクとして運転できるようになります。制動距離が長くなる場合があります。

注意

ABS システムが解除されると、ABS インジケータランプが点滅しつづけます。

注意

ABS 指示ランプはゆっくり点滅：1 回 / 秒、速く点滅：2 回 / 秒

警告

速度が 5km/h を超えた場合、ABS インジケータランプは ABS システムの故障を示し、ABS が正常に作動していない可能性があります。メーカーのアフターサービスで修理してください。ABS システムが作動しない場合、本車両は ABS のないバイクとして動作します。そのため、制動距離が長くなり、予測不可能な状況が発生する可能性があります。

警告

オフロード走行などの前輪と後輪の速度差が大きい場合、ABS 表示灯が常に点灯し、ABS は解除されます。

警告

ABS が作動している時は、前輪と後輪の相対速度を比較する必要があります。メーカー指定以外のタイヤは ABS 機能に悪影響を及ぼす可能性があります。

注意

ABS を再作動させるには、車両を完全に停止させてから、キーをオフの位置に回し、約 5 秒待ってから再びスタートポジションに戻します。車速が 5km/h に到達したら ABS 表示灯は消えます。

サスペンション

フロントショックアブソーバーの調整

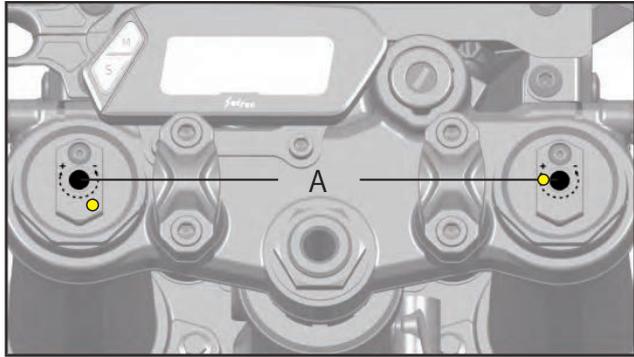
ダンピング 圧縮減衰 (REB) :

左右のフロントフォークの上部にあるネジ (A) を回し、圧縮減衰を調整します。

「+」は圧縮減衰を強くすること、「-」は圧縮減衰を弱くすることを意味します。

調整ネジ (A) を時計回り「+」方向に回すと、圧縮減衰は強くなります。

調整ネジ A を反時計回り「-」方向に回すと、圧縮減衰は減少します。



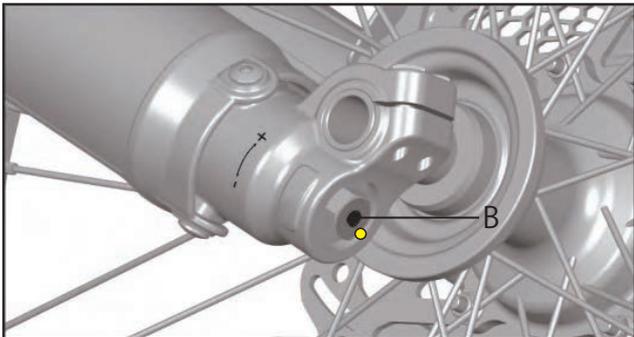
スプリングプリロード調整 (COMP) :

左右のフロントフォーク下部のネジ (B) をマイナスドライバーで回して調整します。

「+」はプリロードを強くし、「-」で弱くなります。

調整ネジ (B) を時計回り「+」方向に回すと、伸縮速度を下げ、

調整ネジ (B) を反時計回り「-」方向に回すと伸縮速度が速くなります。



リアショックアブソーバーの調整

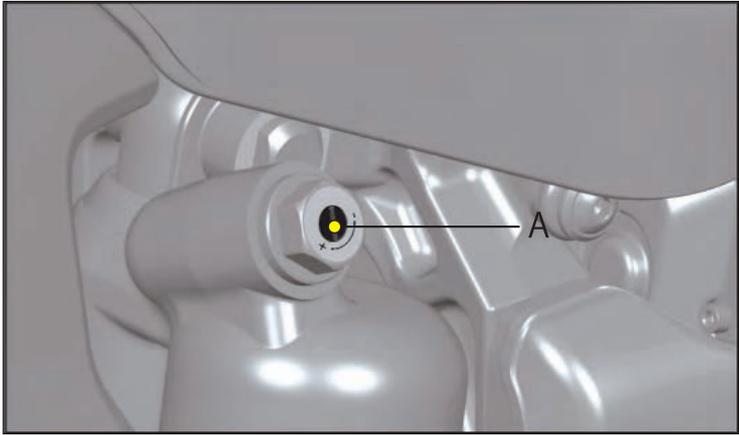
ダンピング調整 (COMP)

調整ネジは、ショックアブソーバーの右上にあります。

ネジには刻印がありハード（高圧縮ダンピング）は「+」、ソフト（低圧縮ダンピング）は「-」です。

調整ネジ (A) を時計回り「+」方向に回すと、圧縮減衰が増加します。

調整ネジ (A) を反時計回り「-」方向に回すと、圧縮減衰が減少します。



----- 注意 -----

- サスペンションの外観はブランドによって異なる場合があります。
- 実際の製品をご参照ください。
- ダンピングとスプリングプリロードは、路面状況やライダーの体重に応じて適度に調整する必要があります。
- ダンピングを最大値まで調整すると、ショックアブソーバが誤作動を起こし、衝突の原因になることもあります。

サスペンションの調整

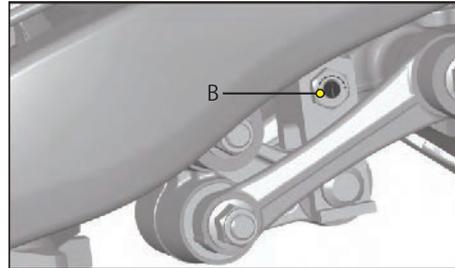
リバウンドダンピング (REB)

伸縮調整ネジ (B) はサスペンションの下の右側にあります。

ネジには刻印があり「+」でハード（低反発）、「-」でソフト（高反発）になります。

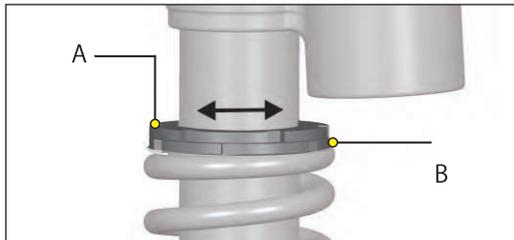
調整ネジ (B) を時計回り「+」方向に回すと、伸縮速度を下げます。

調整ネジ (B) を反時計回り「-」方向に回すと、伸縮速度が速くなります。



リアサスペンションのプリロード調整

1. スプリングロックリング (A) を緩めます。
2. 調整用スパナで調整リング (B) を回します。
3. 調整リング (B) を反時計回りに回すと、スプリングのプリロードが減少し、時計回りに回すと増加します。リング (B) を時計方向に回して、スプリングのプリロードを大きくします。
4. 調整が終わったら調整レンチでスプリングロックリング (A) をロックします。



----- 注意 -----

- ・圧縮減衰とスプリングプリロードは、路面状況やライダーの体重に応じて調整する必要があります。プリロードと減衰力を限界まで掛けることは避けてください。サスペンションが誤作動を起こし、事故の原因になることもあります。
- ・サスペンションの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご参照ください。

バッテリーの管理

本車両は、周囲温度 -20°C ~ 50°C の範囲で使用可能な高性能ハイレートリチウム電池を採用しています。周囲温度 $10 \sim 30^{\circ}\text{C}$ の範囲での使用を推奨します。周囲温度が低い、または高い場合、バッテリーの性能・寿命が下がります。許容範囲外の温度で使用したり、 0°C 以下でバッテリーを充電したりしないでください。

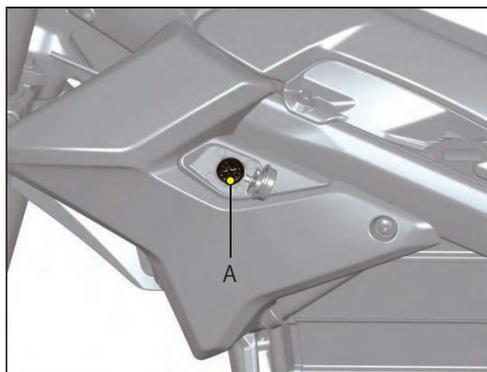
通常の周囲温度であれば、約 4-5 時間の充電が可能です（入力電圧 100V）。周囲温度が低すぎる場合、バッテリーの性能に影響を与え、航続距離が若干短くなります。温度が上がると、バッテリーの性能は自動的に回復します。長時間使用しない場合は、バッテリーを約 60% ~ 80% の電力に充電してください。ただし 1 ヶ月に 1 回バッテリー残量を確認し、30% 以下になった時充電してください。過放電のまま放置するとバッテリーが劣化する可能性がありますので、放電後には早いタイミングでの補充電を行ってください。

車体全体を車輪軸の上まで水中に浸からないようにしてください。バッテリーへの入水により、内部でのショート、バッテリーの故障の原因になります。万一、水の浸入やバッテリーの故障があった場合、バッテリーの再充電は絶対にしないでください。

バッテリーは防水・密閉構造で、内部に高電圧回路を搭載しています。外装が破損すると、バッテリーの防水性が損なわれます。防水構造が破損した場合は、正規販売店にご連絡ください。破損や危険の恐れがありますので、バッテリーを分解しないでください。

電源電圧と充電

充電する前に、充電器の入力電圧が交流 100V 電源であることを確認して下さい。また、出力元の負荷電力が充電器の電力要求を満たすことを確認して下さい。充電するときは、最初にバッテリー側のソケットを接続し、次にコンセントに電源プラグを接続して下さい。充電器の出力ポートを左側のバッテリー充電ソケット A に差し込み充電します。



----- 充電に関する注意事項 -----

- ・充電するときは、子供の手の届かない安全な場所で行なってください。
- ・満充電になったばかりのバッテリーを使い始めるのは避け、満充電になったら 10 分以上放置してから使い始めることをお勧めします。
- ・充電中は、充電器を物で覆わないでください。
- ・この充電器は屋内用です。
- ・充電器は、乾燥した風通しのよい環境でご使用ください。
- ・充電が完了したら、車両とバッテリーの充電ソケットのキャップを閉めてください。
- ・充電中は、バッテリーの出力プラグを抜き差しすることは固く禁じられています。

----- 警告 -----

高出力時や高温環境下での作業後は、すぐに充電できない場合があります。バッテリーを 30 分ほど冷却するか長い時間をかけて充電して下さい。これは、内部温度が高いときは充電を抑制しているためです。内部温度が高いときに充電すると、バッテリーの寿命が短くなります。

----- 警告 -----

- ・バッテリーの充電は、必ず可燃物から離れた風通しのよい場所で行ってください。
- ・屋外で充電する場合、雨天時の充電は避けてください。
- ・純正の充電器のみを使用してください。
- ・未承認の充電器や付属品を使用すると、バッテリーの破損やバッテリーの故障、または危険を引き起こす可能性があります。
- ・0℃以下で充電すると、バッテリーが破損することがあります。
- ・バッテリーの温度が 0℃以上に上がってから充電してください。
- ・バッテリー内の充電可能な最高温度は 55℃です。
- ・バッテリーの内部温度が 60℃を超えたら、55℃以下に冷えるまで充電はしないでください。
- ・バッテリーは激しい走行により急速に放電し、周囲温度が低くてもバッテリーの内部温度は 55℃以上になることがあります。
- ・バッテリーは、自然放置で常温に戻す程度にしてください。それ以外の方法でバッテリーを温めたり、冷やしたりすることは禁止されています。

----- 警告 -----

次のことに気がついたら、すぐに充電を中止して電源を抜いてください。車両を使用せず出来るだけ早く正規販売店に連絡するか、修理の為に持ち込んで下さい。万一バッテリーが発火した場合は、水の中に投げ入れて冷却して下さい。

- ・バッテリーの外観が破損している
- ・充電中に嫌な臭いがする
- ・バッテリーや充電器の温度が高すぎると感じた場合
- ・バッテリーを長時間充電しても満充電を示さない

動力システム

「Storm Bee」に採用された動力システムは、コントローラー、モーターで構成されています。

注意

ユーザーによるモーターの分解は固く禁じられています。分解すると位置センサーが変化し、対応するシールなどが破損し、制御不能やモーターの損傷につながる可能性があります。コントローラーは精密高電圧電子部品であり、誤って配線すると、コントローラーが破損する恐れがあります。コントローラーやケーブルを分解することは厳禁です。感電や火傷など、重大事故につながる恐れがあります。

「Storm Bee」に使用されている動力システムは、製造元または専門的な訓練を受けた技術者が修理・交換を行う必要があります。電源システムを分解・改造することは固く禁じられています。

警告

モーター主電源ケーブルは稼働時に大電流を流します。そのためケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、私的な取り外しは固く禁止されています。

メンテナンス修理の際は、ケーブルボルトの締め付け具合と密閉性を確認してください。ケーブルの絶縁が条件を満たしていることを確認してください。

電源システムは 96V 系で、主電源ケーブルはオレンジ色です。

車両の使用、修理中、メンテナンス中は、ケーブルと車両の絶縁が損なわれないようにしてください。

ブレーキオイル

部位	型番	オイル量
ブレーキオイル	DOT4	\
ギアボックス	10W~40SG以上	300ml
クーラント	グリコールタイプ (-40°C)	150ml

メンテナンス記録

47 ページのメンテナンス間隔表に従ってください。

各サービスやメンテナンスの後、この説明書の「メンテナンス記録」の章に関連情報を記録してください。

定期的なメンテナンス

「Storm Bee」は、安全性を維持するために定期的なメンテナンスが必要です。以下のメンテナンススケジュールには、メンテナンスの頻度や注意事項が記載されています。技術や工具をお持ちでない方は、最寄りの正規販売店でメンテナンスをお受けください。誤った整備、分解、取り付けによる部品の損傷や走行中の事故については、使用者の責任となります。

この整備表に記載されている整備間隔は、舗装された道路での通常の走行状態に基づいています。雨天時や埃の多い場所、オフロードを頻繁に走行する場合は部品によっては、より頻繁なメンテナンスが必要になります。走行距離にかかわらず、少なくとも 6 ヶ月に一度は点検を受けることをお勧めします。

メンテナンスプラン

電動バイク「Storm Bee」を維持するために、この表に従って定期的なメンテナンスを行う必要があります。

走行時間と走行距離が異なる場合は、先に達した間隔に従ってください。

メンテナンススケジュール

Storm Bee メンテナンス周期表						
検査項目	乗車前	100 Km	500 Km毎	2000 Km毎	5000 Km毎	10000Km毎/ 12ヶ月間
タイヤの空気圧 (磨耗)	●					
ブレーキパッドの磨耗		●	●	●	● / ㊄	● / ㊄
チェーン		●	● / ㊄	● / ㊄	● / ㊄	● / ㊄
バッテリー電圧	●					
液晶ディスプレイ	●					
ギアボックスオイル		●		●		● / ㊄
ショックアブソーバー (ショックアブソーバーオイル)		●		●		● / ㊄
ブレーキオイル量		●		●		● / ㊄
クーラント	●	3,000km毎にメンテナンス				㊄
フルカバーベアリング		●		●	●	● / ㊄
ランプ	●					
ホイールスポーク	●	㊄			㊄	㊄

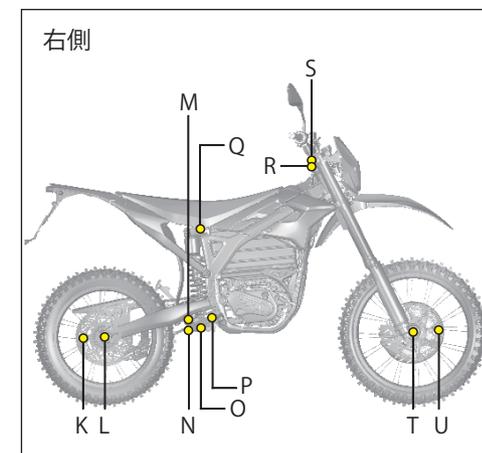
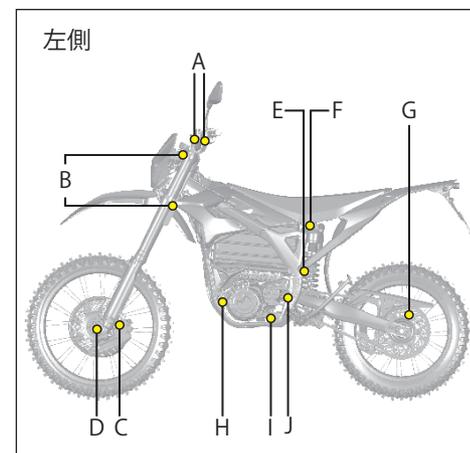
● チェック ㊄ 注油 ㊄ 交換 ㊄ 調整 ㊄ メンテナンス

重要な締め付けボルトのトルク管理

定期的に点検し、指定された工具で締めます。

注：ステアリングコラムアジャストメントナットの調整方法。

1. 前輪が地面から離れるように、作業台の上に車両を置きます。
2. フロントショックアブソーバー上板のステアリングコラム固定ボルトとフロントショック取り付けボルトを緩める。
3. ステアリングコラム調整ナットを 20N.m まで締め付けた後、1/4 回転ほど緩めて下さい。
4. フロントショックアブソーバー上板のステアリングコラム固定ボルトとフロントショックアブソーバー取付ボルトを締める。
5. ステアリングハンドルに異常な回転が無いか確認し、必要に応じて上記手順を繰り返してください。



47 ページのトルク表をご参照ください。

重要な締め付けボルトのトルク管理

位置	項目	トルク	規格	説明
A	ハンドル取り付けボルト	30N.m	六角穴付ボルト M8*20	/
B	フロントフォーク取り付けボルト	28N.m	六角穴付ボルト M6*40	/
C	フロントブレーキキャリパー取り付けボルト	30N.m	六角穴付ボルト M6*35	/
D	フロントアクセルボルト	55N.m	フランジ付六角ボルト M14*1.5*20	/
E	サブフレーム取り付けボルト (下部)	40N.m	六角穴付き皿小ねじボルト M10*1.5*20	/
F	サブフレーム取り付けボルト (上部)	28N.m	六角穴付きなべ小ねじM8*30	Kraft K-0609 (または同等品) を使用すること
G	リアサブフレーム取り付けボルト	28N.m	六角皿小ねじM8*28	Kraft K-0609 (または同等品) を使用すること
H	モーターマウンティングシャフト (前側)	55N.m	フランジ付六角ボルト M10*72	/
I	モーターマウンティングシャフト (後側)	55N.m	フランジ付六角ボルト M10*108	/
J	スイングアームシャフト	130N.m	T軸ボルトM16*1.5	/
K	リアブレーキディスク取り付けボルト	10N.m	六角穴付ボルト M6*25	Kraft K-0609 (または同等品) を使用すること
L	リアホイールアクスルナット	160N.m	六角セルフロックナット M22*1.5	/
M	ロッカーアーム取り付けシャフト (上部)	85N.m	フランジ付六角ボルト M12*1.25-110	/
N	ロッカーアーム取り付けシャフト (下部)	85N.m	フランジ付六角ボルト M12*1.25-95	/
O	リアショック取り付けボルト (下部)	55N.m	ネジ切りボルト M10*1.25-14	/
P	リンクロッドアクセルシャフト	85N.m	フランジ付六角ボルト M12*1.25-136	/
Q	リアショック取り付けボルト (上部)	55N.m	ネジ切りボルト M10*1.25-16	/
R	ステアリングコラムアジャスタロックスナット	/	六角穴付ボルト M30*8	/
S	ステアリングコラムロックスナット	65N.m	六角穴付ボルト M26*8	/
T	フロントアクセルロックスナット	28N.m	六角穴付ボルト M8*30	/
U	フロントブレーキディスク取り付けボルト	10N.m	六角穴付沈み込み防止ボルト -M6*25	Kraft K-0609 (または同等品) を使用すること

バッテリー

----- 注意 -----

1. バッテリーはリチウム系のため時々充電する必要があります。
長期間使用しないときは、バッテリーの容量の 60 ~ 80%程度まで充電し、1 ヶ月ごとに残量をご確認ください。バッテリーの充電量が 30%以下になった場合は、バッテリーの活性が低下し、性能に影響を与えたり、故障の原因となるため 1 ヶ月に 1 回程度は充電してください。
2. バッテリーは、高温になる場所や直射日光の当たる場所に保管しないで、周囲温度 10℃ ~ 30℃の場所で保管してください。
3. 修理や点検を依頼する際は正規販売店にご連絡ください。
4. リチウムイオンバッテリーの廃棄については、購入販売店にご相談ください。
バッテリーはお住まいの地域の法律に従ってください。できれば廃棄せず、リサイクルすることをお勧めします。

ブレーキシステム

----- 警告 -----

- オイルレベルを点検する前に、バイクを水平な場所に置きます。
ステアリングを戻して、オイルカップが水平にあることを確認します。
新しいブレーキオイルを加える際、他の部品を汚さないように、ブレーキオイルがこぼれたらすぐに拭き取ってください。

----- 注意 -----

- 塗装面にブレーキオイルをこぼさないよう注意してください。
ブレーキオイルがプラスチックにかかると、変質の原因になります。
キャップを取り外す前に、必ずマスターシリンダーのリザーバーの下に吸油性の良いタオルを置いてください。

ブレーキシステム

電動バイク「Storm Bee」のブレーキシステムのメンテナンス方法について説明します。

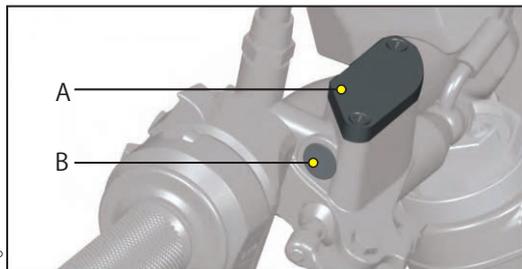
ABS（アンチロックブレーキシステム）、ブレーキパッド（フロント、リアブレーキ）を含みます。また、フロントおよびリアブレーキシステムのブレーキオイルレベルと種類を推奨しています。ブレーキシステム用エアVENT ABS を搭載した電動バイク「Storm Bee」では、HCU（油圧制御装置）にブレーキオイルが満タンでなければ、ブレーキシステムの性能を発揮することができません。

HCU にブレーキオイルを充填するためには、真空ポンプと充填機が必要です。

ブレーキオイルの液面は、オイルミラー (B) で確認することができます。オイルミラーの3分の1以下になった場合、ブレーキオイルを補充する必要があります。

オイルカップを開ける前に、清掃して下さい。

ブレーキオイルを汚さないようにキャップ (A) の汚れやゴミを取り除きます。



オイルレベルが低い場合、ブレーキパッドが摩耗しているか、油圧システムに漏れがある可能性があります。パッドが摩耗していないか、油圧システムの漏れがないか確認してください。シール容器に入った新しい DOT 4 ブレーキオイルのみを使用してください。

ブレーキオイルを補充する際には、以下のように操作します。

1. カップカバーのネジ 2 本を外し、カップカバーとカップパッキンを取り外します。
2. 新しい DOT 4 ブレーキオイルを入れます。
3. キャップシールに磨耗や損傷がないこと、位置が適切であることを確認します。
4. オイルカップカバーのネジを取り付けます（トルク 4N.m）。

- ブレーキディスクの点検

ブレーキディスクの厚みは、定期的に点検する必要があります。厚みは 3.0mm 以上です。

- ブレーキパッド検査

ブレーキパッドは、メンテナンス周期表に記載されている間隔で点検する必要があります（45 ページ）。

キャリパーの側面を見て、ブレーキパッドの残量を確認します。

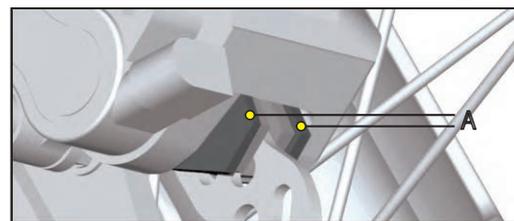
フロントブレーキパッドの厚さが 1.5 mm 未満、リアブレーキパッドの厚さが 1 mm 未満の場合は、ブレーキパッドを交換してください。もし、ブレーキパッドの金属部分 A に損傷がある場合は、すぐに両方のパッドを交換してください。

- ブレーキパッドの交換

ブレーキパッドの厚みは、定期的に点検する必要があります。厚みは 3.0mm 以上です。

ブレーキパッドやディスクを新品に交換した後は、ディスクやパッドの装着状態を確認し、慣らし運転をすることをおすすめします。

これにより、ブレーキフィーリングが向上し、ブレーキ音も低減または解消されます。



フロントブレーキパッド



リアブレーキパッド



警告

新品のブレーキシステムや新品のブレーキパッドを使用した場合、初期の制動力が低い可能性があります。

ブレーキシステムが正常な制動力を発揮できるように、低速でブレーキパッドとディスクの慣らし運転をしてください。

ブレーキシステム

・パーキングブレーキ

電動バイク「Storm Bee」にはパーキングブレーキが搭載されており、リアブレーキのハンドルにあるパーキングペダルを回しパークポジションにすると、リアをロックできます。パーキングブレーキは定期的に点検してください。

・パーキングブレーキの点検

1. 車両を持ち上げ、台などを使い後輪が浮いた状態にします。
2. リアブレーキレバーをしっかりと握ります。
3. リアブレーキのパーキングロックパドルを押し込んでください。
4. リアブレーキから手を離れた後、パーキングロックパドルから手を離します。
5. 後輪を回し、回すのに抵抗を感じたら、正常に駐車できます。

----- 注意 -----

ハンドルの調整ネジを任意に調整しないでください。
パッドが摩耗すると、オイル回路への補充がうまくいかなくなります。

----- 警告 -----

もしパーキングブレーキで後輪のロックができない場合は、すぐに正規販売店にご連絡ください。

水冷システム

電動バイク「Storm Bee」のパワー部には水冷システムが搭載されています。

以下の要領で冷却してください。

----- 警告 -----

ウォーターポンプやファンが稼働しているときは、ウォーターボトルキャップ系を絶対に開けないようにしてください。

冷却水は有毒であり、人身事故や死亡事故を引き起こす可能性があります。

冷却水を誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

誤って冷却水の蒸気を吸い込んだ場合は、直ちに換気し、新鮮な空気を吸入して下さい。

冷却水が目に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けるようにしてください。

作業後は、手や汚れた衣類をよく洗ってください。

子供やペットに冷却水を触れさせないでください

----- 注意 -----

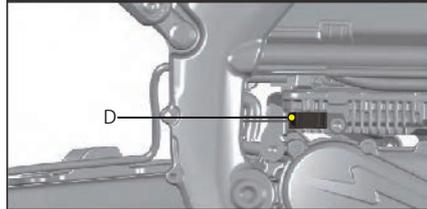
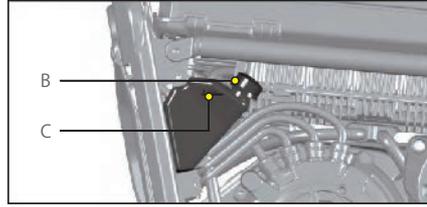
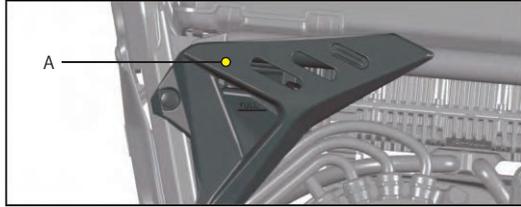
冷却水には、車の塗装を腐食させる作用があります。整備するときは十分に気をつけてください。汚れている場合は、適時、冷却水を拭き取って下さい。

----- 注意 -----

冷却水の代わりに他の液体を使用しないでください。他の流体を代わりに使用した場合、水冷システムに汚れが蓄積し、水冷システムの効率が低下し、水冷システムが凍結から保護されなくなります。

水冷システム

・冷却水の補充

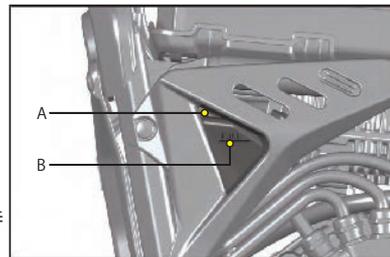


1. サイドスタンドで車両を支えます。
2. コントロール左ボックス A を外し、ウォーターボトルキャップ B を開け、冷却水を FULL まで注入する。
3. メインスイッチを開け、以下のいずれかの方法で水冷システムを始動させます。
 - a. 温度センサー D に約 1L の沸騰したお湯をゆっくりかける。
 - b. 家庭用ドライヤーの最高温度設定水冷システムが作動し始めるまで温度センサー D を加熱する。
4. ポンプが作動している間、ウォーターボトルに残りの冷却水を継続的に補充します。
5. その後、メインスイッチを切り、30 秒ほど待ってから水平位置を確認してください。冷却水は、最大レベルマーク C より上でなければなりません。
6. ウォーターボトル B とコントロールレフトフラップ A を装着する。

・クーラントレベルチェック

クーラントレベルは頻繁に確認する必要があります。以下の手順で確認してください。

1. 寒冷地ではサイドスタンドで車両を支えて下さい。
2. 冷却水はウォーターボトルの最高レベルマーク B より上にあることを確認してください。
3. 不十分な場合は、前項の補充方法を参照して、適時補充してください。



クーラント交換

冷却水は、整備間隔の表に記載されている時期に点検し、交換する必要があります。
(45 ページ) 冷却水を交換する場合は、販売店にて交換をお願いします。

ギアボックス

ギアボックスの点検・整備は、整備間隔表に記載されている時期を参考にしてください。
(45 ページ参照)



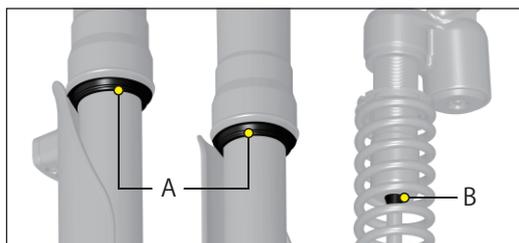
ギアボックスオイルの点検・交換

1. バイクが冷えている状態で、水平な場所にバイクを正立させます。ギアボックスのオイルチェック窓 A を観察してください。オイルの適正量は 1/2 から 2/3 です。
2. ギアボックスのオイルを交換するときは、メインスイッチがオフしていることを確認し、オイルボルト B でオイルドレンポートからオイルが垂れない程度に排出します。その後オイルボルト B を取り付け、締め付けます。
3. 新しいギアボックス・オイルを注入口 C から加え、オイルミラー A の 1/2 から 2/3 の正常範囲までレベルを上げる。(300ml)

サスペンション

1. 走行終了後すぐにサスペンションの表面、特に付着物を清掃してください。

本体チューブの表面に付着した泥や砂を高圧洗浄する場合、各サスペンションのダストシール A と B のリップに対し、



上向きに水をかけるのは厳禁です。泥や砂がオイルシールのリップから入り込み、摩損やオイル漏れの原因になります。

2. 易溶性や腐食性のある溶剤は使わないでください。ダストシールの損傷の原因になります。

拭き取りには中性洗剤と柔らかい綿製の布を使用して下さい。

3. 汚れを落とした後は、本体チューブ表面に潤滑グリースを塗布し、本体チューブ表面を十分に滑らかにしてください。

警告

サスペンションは不適切に扱うと破損することがあります。
または破裂して、重大な人身事故を引き起こす可能性があります
メンテナンスについては、45 ページのメンテナンス間隔表をご参照ください。
調整については 37 ~ 38 ページをご覧ください。

- ・サスペンションには高圧のガスや液体が入っています。
- ・サスペンションに手を加えたり、分解したりしないでください。
- ・ガスボンベを衝撃、熱、直火にさらさないでください。
- ・走行中はサスペンションやガスシリンダが高温になることがありますので、火傷をしないようにしてください。

ホイールとタイヤ

ホイールが下記のような状態になっていないか確認します：

1. リムの変形や亀裂
2. リムに衝突跡
3. スポークの緩みや変形
4. タイヤのトレッドやショルダー、サイドウォール区域のパターンに切り傷、亀裂、破れ、欠け
5. タイヤのふくらみ
6. トレッドの摩耗が不均一
7. タイヤ取り付けラインの高さが不均一

もし、このような状態にある場合はすぐにホイールやタイヤを交換して下さい。

警告

タイヤ空気圧の不適正は、タイヤの故障の原因となります。不適正な空気圧で長時間走行すると、タイヤの破裂やトレッドの剥離を引き起こすことがあります。これは重大な人身事故につながる可能性があります。毎回の走行前に、タイヤの空気圧をチェックし、適正值に調整します。タイヤが冷えているときに、正確な空気圧を確認してください。

空気圧基準表

タイプ	前輪	後輪
全地形型タイヤ	225kPa	225kPa
ロードタイヤ	280kPa	280kPa
オフロードタイヤ	225kPa	225kPa

注) オフロードタイヤは林道での使用シーンを想定したオフロード用タイヤの推奨空気圧範囲 100 ~ 150kPa

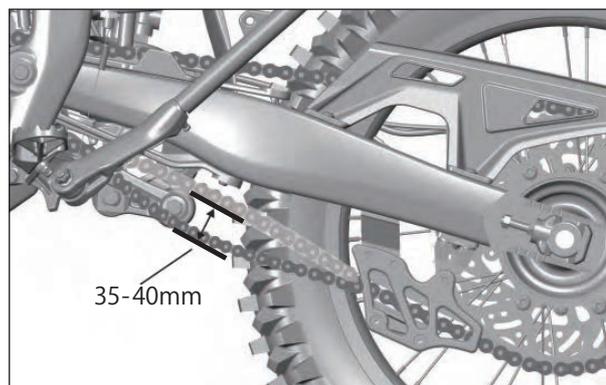
チェーン

チェーンの点検やメンテナンスは 45 ページのメンテナンス周期表を参照ください。

1. チェーンとスプロケットをきれいに保つようにしてください。
2. チェーンの摩耗、張り具合、オイルの状態をチェックしてください。
 - (1) 車サポートベンチで後輪を吊り上げるように車を支え、手でチェーンを上下に動かし揺れ幅が回して、垂れが推奨範囲内（35～45mm）であることを確認してください。
 - (2) 調整する場合は、まずリアアクセルナットを緩め、次に左右のアジャストメントを調整してください。
 - (3) 適量のオイルをチェーンに塗布します。

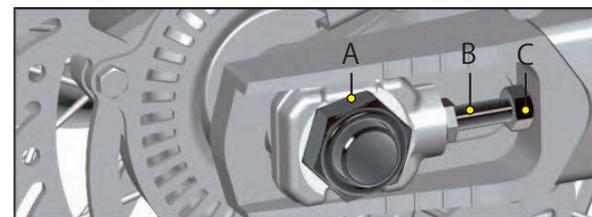
----- 注意 -----

1. チェーンの上下の揺れ幅が推奨範囲を超えていると、スイングアームの保護ブロックの摩耗を加速させるため、すぐに調整してください。
2. 調整後、左右のアジャスターマークはスイングアームのメモリ位置と同じになります。



チェーン調整手順

1. 後輪が浮くようにバイクスタンドで車体を持ち上げ、メインスイッチからキーを外し、キルスイッチでパワーをオフにします。
2. リアホイールシャフトナット A を緩めます。
3. 左右のアジャストボルト B を固定しているナット C を緩めます。
4. チェーンが規定範囲内の長さになるまで、左右の調整ボルト B を等間隔に調整します。
5. リアホイールシャフト A を締めます。
6. 左右のナット C を締め、調整ボルト B を固定します。
7. テスト走行します。
8. 試乗後、チェーンが正しく調整されていることを再確認し、必要であれば再調整してください。



----- 注意 -----

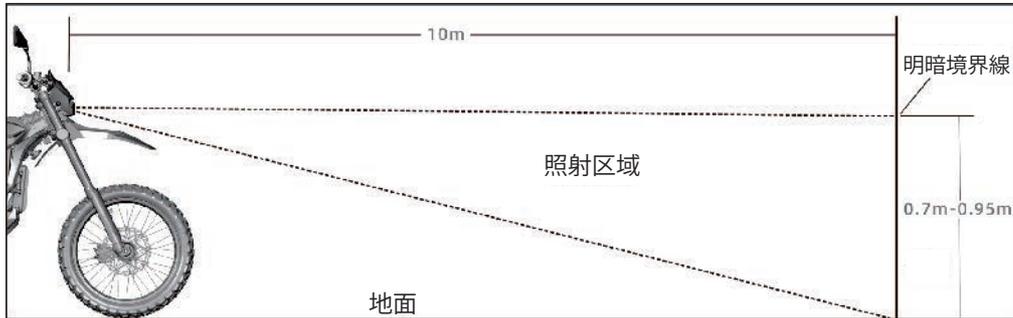
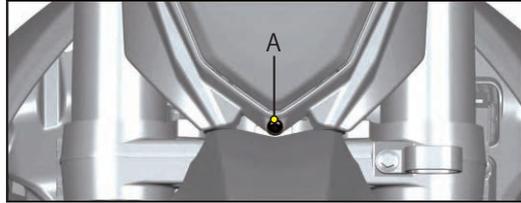
チェーンを調整する場合は、左右の調節ボルトを均等に調整してください。

ヘッドライトの調整

定期的にヘッドライトの角度が適正であることを確認する必要があります。車体角度の変更は、車体全体の角度に影響するため、変更後に再調整する必要があります。ヘッドライトを調整する前に、サスペンションとタイヤ空気圧を正しく調整する必要があります。ヘッドライトの照射角度は上下に調整することができます。照射角度が適正でないと、ビームが近くなりすぎたり、遠くなりすぎたりします。

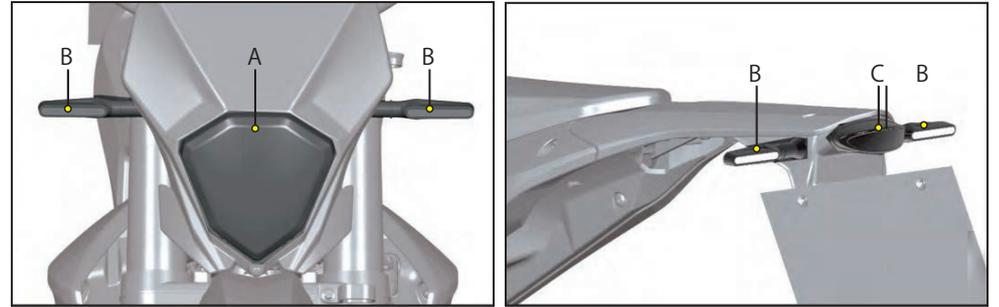
ヘッドライトの角度調整：

1. ヘッドライトをロービームの位置にし、車両を地面に対して垂直にした状態にします。
2. 乗車した状態で、ビーム角度を確認します。
3. 調整ネジ A は、ヘッドライトの真下にあります。
4. ヘッドライトのビーム角を調整するには、適切なビーム角になるまでネジを回します。
5. 照明の適正角度は、10m 離れた明暗カットラインで地面から 0.7 ~ 0.95m です。



ライトの交換

ヘッドライト A/ ターンシグナルライト B/ テールライト C が故障した場合は、正規販売店にて交換してください。



車両洗淨

1. スポンジや清潔で柔らかい布を使い、中性洗剤とたくさんのお水でやさしく洗車して下さい。
2. 液晶パネルを洗う時は、ほかのパーツに比べて傷つきやすいため、十分注意して下さい。
3. 洗車後、たくさんのお水で十分にすすぎ、洗剤の残留が無いようにして下さい。
4. 柔らかい乾いたタオルで車両を拭きます。
5. 洗車後、損傷や摩耗、漏れなどが無いか確認し、チェーンなど注油が必要なパーツのメンテナンスをし、操作の前にすべての電気ユニットを乾かして下さい。洗車後に走行する場合は、安全な低速度で何度かブレーキをかけ、ブレーキパッドの汚れを落として下さい。

注意

不適切な洗車はパーツ破損の原因となります。
ベアリング、シールパーツ、電気ユニット およびプラグの洗淨には高圧洗淨機は使用しないでください。車両の使用寿命を延ばすためにも、定期的な洗車とメンテナンスが必要です。洗淨後はなるべく早く乾燥させることをお勧めします。

車両洗淨

注意

プラスチック製のパーツには刺激性のある化学製品は使わないでください。腐食性の強いクリーナーや溶剤、シンナー、燃料（ガソリン）、錆取り剤、阻害剤、ブレーキ液、不凍液、電解質がついた布やスポンジなどは使用しないでください。高圧洗淨機を使用して車両を洗う場合は、車両やパーツの損傷に十分注意してください。洗車後と乗車前には必ずブレーキの点検をしてください。

ホイールとタイヤの掃除

強酸性のホイールクリーナーは使わないでください。もしそれらを使って落ちにくい汚れを落とす場合は、できる限り短時間で洗い、すぐに乾かして下さい。

注意

タイヤは水洗いのみです。タイヤのケア剤類はタイヤと地面の摩擦力を低下させ、劣化を早める恐れがあります。

車両の長期保管

30日を超える長期保管をする場合は、バッテリー残量を60～80%ほどにし、バッテリーの接続を外してください。バッテリーは保管時でもゆっくりと放電していきます。少なくとも一カ月に一度はバッテリー残量を確認し、もし残量が30%以下だった場合は60～80%まで充電をしてください。もう一度乗車する前に満充電にすることで、バッテリーが最適な状態に戻ります。動力システムの使用寿命を延ばすためにも、車両を保管する場合は日陰の風通しの良い場所で保管してください。高温多湿の場所で保管すると、バッテリーと動力システムの寿命を縮めてしまいます。バッテリー及び動力システムについての詳細は40～43ページを参照ください。

注意

バッテリー残量が30%以下では車両を保管しないでください。バッテリー残量が30%以下の状態で長期間放置すると、バッテリーの寿命が短くなったり、損傷したりする可能性があります。過放電や長期間のバッテリーの低残量による故障は、保証対象にはなりません。

注意

バッテリーの修理は、専門の知識と技術がないとできません。なにか問題がある場合は、必ず正規販売店にご連絡ください。爆発やケガの原因となるため、ケースを開けたり、分解や改造などは絶対にしないでください。

パーツ

車両には弊社純正のパーツを使用してください。

正規販売店で購入した純正パーツを使いメンテナンスを行ってください。

ヒューズ

車両の電機システムには過電流保護装置を備えており、その中のヒューズは一度きりの保護装置であるため、過負荷時に切断された場合は同規格のものと交換する必要があります。

注意

もしヒューズが繰り返し切断されるような場合、正規販売店に電気システムの検査をするよう依頼してください。

ヒューズ

弱電ヒューズボックス

ステアリングコラムの左後方にあります。

ヒューズには保護カバーが付いているので、まずそれを外します。カバーを開けるには、タブを強く押し込んでください。

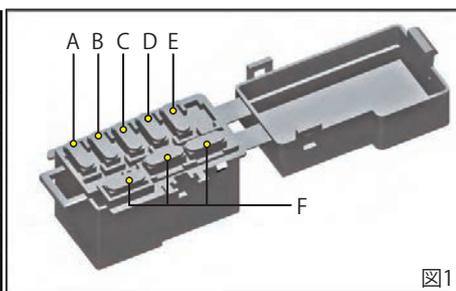
弱電ヒューズの交換：

1. 保護蓋を右側に向けて開きます
2. 同規格のヒューズと交換します



12Vのヒューズの電流サイズは以下のとおりです

図1の記号	定格	用途
A	10A	車両
B	15A	ABS電源
C	15A	ABSモーター
D	5A	水冷用
E	5A	USB用
F	5A / 10A / 15A	予備



高圧ヒューズボックス

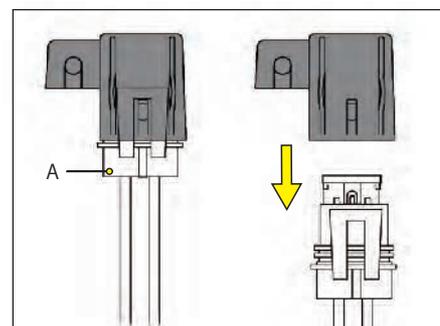
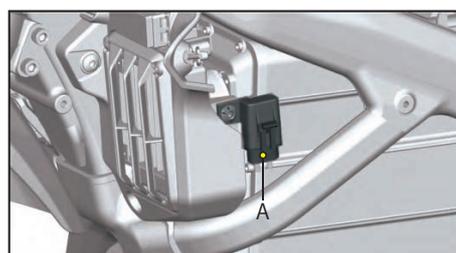
高圧ヒューズボックス A は、車体左側シールド内に設置されています。

高圧ヒューズの交換

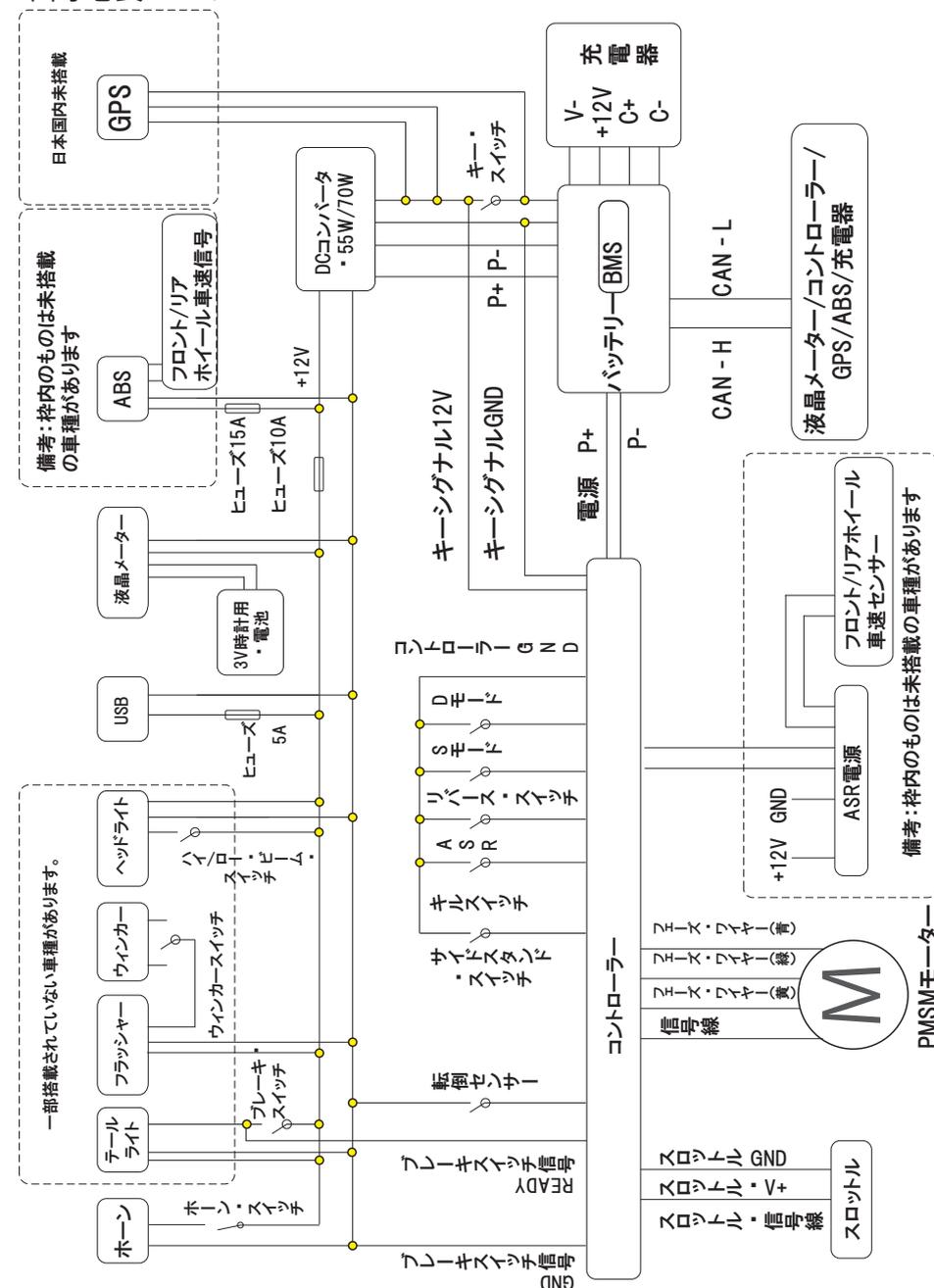
1. バッテリーを車両から取り外します。
2. ヒューズホルダー A のツメを緩めて外します。
3. ヒューズを交換します。

高電圧ヒューズは 5A タイプです。

注意：取り扱いの際は絶縁手袋を着用し、慎重に行ってください。



車両電装システム



Storm Bee 点検について

納車前に入念な点検を行っています。

点検の過程で、技術的な問題が発生する可能性があります。以下の内容は、問題を特定し可能であればメンテナンスを行うためのガイドラインとなるものです。もし不具合が解消されない場合は、正規販売店へお持ちください。

暑さ・寒さ対策

・寒さ対策

寒い天気下で使用しても、バッテリーに永続的な影響を与えることはありません。しかし、寒さがバッテリーの放出エネルギー量に影響を与えるため、航続距離とパワーが低下することがあります。そのため、25℃の環境下と比較して、0℃以下の気温で使用すると航続距離とパワーが低下する場合があります。25℃に比べ、一時的に航続距離が30%程度低下することがあります。また、極寒の天気下では出力が低下し、最高速度に達しない場合があります。

バッテリーの温度が-5℃以下のときは、乗ることをお勧めしません。低温環境下で使用する場合は、必ず0℃以上の温度がある場所で充電して下さい。バッテリーメーカーの規定により絶対最小放電温度である-20℃以下での放電はできません。

適切な温度環境で保管してください。

下記条件の環境下で保管してください：

1. 環境温度は-20℃以上、できれば0℃以上
2. バッテリーを保管する前に、バッテリー残量を60%～80%にし、少なくとも月に一度は充電状態を確認してください。バッテリーの充電残量が30%以下になった場合は、60%～80%まで充電してください。

3. バッテリーの充電は、必ず0℃以上の温度で行ってください。-20℃以下での保管は、バッテリーの劣化を引き起こす可能性があります。この温度以上で、長期保存のガイドライン（61ページの「車両の長期保管」参照）に従い、冬期保管中にバッテリーに損傷を与えないようにしてください。

・暑さ対策

高温環境下で使用しても、性能に大きな変化はありません。但し、バッテリーの損傷を防ぐため、温度が55℃以上（バッテリーを基準）になるとバッテリーの出力がオフになります。バッテリーの温度が50℃を超えると、バッテリーを保護するため、充電時間が長くなることがあります。バッテリーの温度が55℃を超えると、バッテリー管理システムの働きで、充電ができなくなります。

----- 注意 -----

充電時、バッテリーの損傷を防ぐため、バッテリー管理システムの働きにより-5℃以下の温度での充電はできません。冬場などの-20℃以上の気温では、充電量を30%以上に保つことで、バッテリーの損傷を防ぐことができます。車両やバッテリーを、41℃を超える環境下や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。バッテリーの劣化を早める可能性があります。

バッテリー保護機能

バッテリー管理システムが深刻な内部故障を検出した場合、次のような動作を行います。

充電不可：バッテリーの充電がゼロになった場合、またはバッテリー内部に何らかの深刻な問題が発生した場合、問題を解決するまで車両の使用はできません。

充電不可：バッテリー内部に何らかの深刻な問題が発生した場合、問題が解決されるまで充電できません。

Storm Bee 注意事項

Storm Bee は高電圧の部品を使用していますので、適切な方法で、十分注意を払って使用してください。

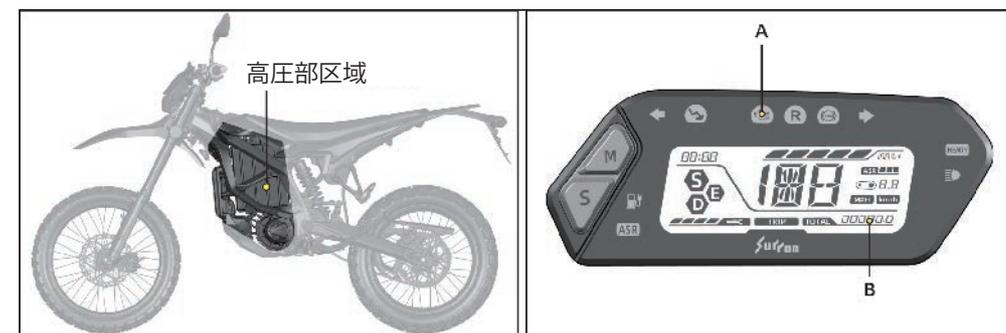
高電圧は危険であり、以下のような可能性があります：

やけど、感電、大けがの原因となる可能性があります。安全のため、車両部品に貼付されているラベルの注意事項を遵守してください。

高電圧の部品やケーブル（高電圧ケーブルはオレンジ色）やコネクタに触れたり、取り外しや交換はしないでください。万が一、事故が発生した場合は高電圧ケーブルの端子や、ケーブルに接続された部品などには触れないでください。火災が発生した場合、安全が確保された状況下でD種消火器で消火してください。火を消した後は、大量の水または水系消火器で温度を下げてください。

システム警告メッセージ

故障が検出されると、液晶表示器上部のオレンジ色のシステム警告指示ランプ A が点灯し、液晶表示器の B の部分にエラーコードが表示されます。



考えられる原因と対処法は、次ページの表をご覧ください。

----- 注意 -----

車体に故障がある場合、液晶パネルが TOTAL モード時にはシステム警告指示ランプのみが点灯し、TRIP モード時には対応のエラーコードが表示されます。

----- 警告 -----

Ultra Bee は、74V の高電圧を使用しています。また、電源操作後、動力システム操作後は熱くなり触れられない程になることがあります。高電圧や高温に十分注意し、車両に貼られているラベルの内容を遵守してください。

----- 重大な警告 -----

Ultra Bee の高電圧回路システムのメンテナンスは、正規販売店で行ってください。高電圧ユニット、ケーブル、コネクタの取り外しや交換は、火傷や感電で、生命に危険を及ぼすこともあります。高電圧ケーブルはオレンジ色です。

エラーコード表

エラーコード	エラー名称	対応方法
ER-000	ディスプレイ通信異常	ディスプレイの配線接続を確認する
ER-003	過放電二次保護	モーターの回転効率が下がっています。駆動系がロック状態になっていないか確認
ER-004	回生過電流二次保護	回生充電の設定値を下げる
ER-008	放電MOS過熱二次保護	使用を中止し、販売店にご連絡ください
ER-010	充電MOS過熱二次保護	充電を中止し、販売店にご連絡ください
ER-013	電池セル温度アンバランス二次保護	
ER-015	電池パック絶縁二次保護	充電を中止し、販売店にご連絡ください
ER-017	電池セル電圧アンバランス二次保護	
ER-019	電池セル低電圧二次保護	バッテリーを充電する
ER-022	過放電三次保護	使用を中止し、販売店にご連絡ください
ER-024	バッテリーセル高温三次保護	使用を中止し、温度が下がるまでお待ちください
ER-025	バッテリーセル低温三次保護	使用を中止し、温度が上がるまでお待ちください
ER-030	BMS保護チップ1エラー	
ER-031	BMS保護チップ2エラー	
ER-037	バッテリーホールセンサー異常	販売店にご連絡ください
ER-038	電池電圧センサー異常	

エラーコード	エラー名称	対応方法
ER-040	バッテリー温度センサー異常	
ER-041	セルファステム温度センサー異常	
ER-043	バッテリー放電MOS異常	
ER-044	バッテリー充電MOS異常	
ER-100	コントローラー異常	販売店にご連絡ください
ER-101	コントローラー過電流保護	販売店にご連絡ください
ER-104	モーターポジションセンサー異常	販売店にご連絡ください
ER-105	モーターロック異常	モーターがロック状態である
ER-106	コントローラーサンプリング異常	販売店にご連絡ください
ER-107	コントローラー高温二次保護	使用を中止し、コントローラの温度が下がるまで待つ
ER-108	モーター高温二次保護	使用を中止し、モーターの温度が下がるまで待つ
ER-109	主電源ケーブル瞬間低電圧保護	コントローラーケーブルの状態を確認
ER-110	主電源ケーブル低電圧三次保護	バッテリーを充電してください
ER-111	主電源ケーブル過電圧保護	回生機能をOFFにする
ER-113	バッテリーセル高/低温三次保護機能	バッテリーの使用を中止し、温度が適正になるまで待つ
ER-114	スロットル信号異常	スロットルケーブルがショートしていないか、アイドルポジションに戻れているか確認する
ER-115	スロットル短絡保護	スロットルケーブルがショートしていないか、又は損傷していないか確認する
AL-116	ブレーキ作動	ブレーキが短絡していないか確認する

エラー対応

エラーコード	エラー名称	対応方法
AL-117	サイドスタンド/モーターカッターオフスイッチ保護	サイドスタンドまたは、モーターカッターオフスイッチが故障していないか確認
AL-118	転倒センサー保護	メインスイッチ再起動/転倒センサーの確認
ER-119	主電源ケーブル低出力保護	主電源ケーブルの確認およびバッテリーの充電
ER-127	モーター温度センサー異常	販売店にご連絡ください
AL-128	回生機能異常	バッテリー温度と電圧の確認
ER-129	CAN通信異常	すべてのワイヤーとケーブルのチェック
ER-130	スピードセンサー異常	フロントおよびリアホイールのスピードセンサーの状態の確認
ER-131	主電源ケーブル瞬間高電圧保護	回生機能をOFFにする
ER-133	キースイッチ異常	キースイッチを一旦OFFにして、再度ONにする
ER-134	コントローラーファームウェア異常	販売店にご連絡ください
ER-135	電池単セル高圧保護	販売店にご連絡ください
ER-136	放電MOS高温保護	販売店にご連絡ください
ER-137	電池単セル低圧保護	バッテリーの充電もしくは販売店にご連絡ください
ER-144	BMS放電超過電流保護	バッテリー出力電流の制限値を超えたため使用制限。エラーが消えない場合、販売店にご連絡ください
ER-145	電池単セル電圧差電力制限	バッテリーセル間電圧に差異が発生したため使用制限。エラーが消えない場合、販売店にご連絡ください
ER-146	放電MOS温度制限	バイクの使用を中止し、温度が下がるまで待つ
AL-147	電池単セル低電圧差電力制限	バッテリーの充電もしくは販売店にご連絡ください

エラーコード	エラー名称	対応方法
車両に電源が入らない	バッテリープラグが装着されていない	バッテリープラグの確認
	バッテリー残量保護	バッテリーを充電する
	バッテリー低/高温保護	電池の温度が適正に戻るのを待つ
	メインケーブルのヒューズが切れた	配線を確認し、ヒューズを交換する
	電子キープラグの接触不良	キーをしっかり差し込むか、交換する
	コンバーター故障	コンバーターの交換
	バッテリー故障	バッテリー交換または販売店にご連絡下さい
	サイドスタンド保護	サイドスタンドを上げる
	ブレーキカッターオフ保護	カッターオフ設定が正常か確認
	転倒センサーがリセットされない	車両を起こした後、電子キーを入れなおす
電源が入るがモーターが動かない	起動時のスロットル戻し忘れ防止機能	スロットルの位置を確認
	バッテリー低電圧保護	バッテリーを充電する
	モーター高温保護	モーターが冷えてから使用する
	コントローラー高温保護	コントローラーが冷えるのを待ってから使用する
	サイドスタンドセンサーの故障	サイドスタンドセンサーのプラグを差し直す、またはセンサーを交換する
	ブレーキカッターオフスイッチの故障	ブレーキセンサープラグを差し直す、またはセンサーを交換する
	転倒センサーの故障	転倒センサーのプラグを差し直す、またはセンサーを交換する

エラー対応

エラーコード	エラー名称	対応方法
電源は入るがモーターが動かない	スロットルの故障もしくは接触不良	スロットルの交換
	コントローラプラグの接触不良	コントローラ信号プラグの再挿入
	モーターホール線プラグの接触不良	モーターホールプラグの再挿入
	コントローラ故障またはホールセンサー故障	コントローラ修理・交換 モーター修理・交換
電源は入るが、メーターが表示されない	液晶ディスプレイのプラグが緩んでいる	液晶ディスプレイのプラグを再挿入または交換
	液晶ディスプレイのプラグが故障	液晶ディスプレイのプラグの再挿入
充電できない	電池の温度が低すぎる、または高すぎる	電池の温度が正常に戻るのを待つ
	充電器プラグの接触不良	充電器プラグの再挿入
	充電器の不具合	充電器の交換
	バッテリーの不具合	バッテリー修理・交換
	バッテリーの残量が少ない	バッテリーの充電
	バッテリーの温度が高いまたは低すぎる	電池の温度が正常に戻るのを待つ
ライディングモードの誤作動および出力低下	モーターまたはコントローラの温度が高い	モーターまたはコントローラの温度が正常に戻るのを待つ
	モード切替スイッチの故障	コンプレッションスイッチの交換
USBポートに電源が入らない	USBプラグの緩み	USBプラグの再挿入
	USBコンバーターの故障	USBコンバーターを交換する

保証条件と保証期間について

Qiulong Technology Co., Ltd. (以下“弊社”)は、この保証条件に記載されている期間中、弊社が認定した正規販売店から購入した新品の車両について、材料および製造上の欠陥に対して保証し、保証の条件は特定の制限があります。この保証は、車体が正規販売店により組み立て・整備され、引き渡された場合にのみ適用されます。本説明書及び車体に付帯しているその他の車体関連の資料をもとに、正しい操作とメンテナンスをすることで適用されます。

車体保証期間について

①Storm Bee E 公道版

購入日から 12 ヶ月 (バッテリーのみ 24 ヶ月) 購入日または 8,000km5,000 マイルのいずれか早い方を適用。

保証継承について：所有者は既定の保証期間の残りの期間を次の所有者に譲渡することができ

②Storm Bee F オフロード版

競技未使用のオフロード版車両期間：購入日から 6 か月。

保証継承について：保証は最初の所有者のみに限定

③Storm Bee E 公道版・Storm Bee F オフロード版で競技会で使用した場合

購入日から 30 日。

注意：この保証は譲渡できません。最初の購入者のみに適用されます。

Qiulong Technology Co., Ltd. の車体は、収益を生み出す商用目的 (例：リース等) での使用や、商用ライセンスや認証取得していない等の無許可での使用の場合、保証期間は購入日から 30 日とします。保証期間は最初の所有者の購入日から始まり、かつ上述の保証条件を満たしている場合にのみ有効となります。

保証対象パーツについて

万が一、車体のパーツに欠陥があり人的な交換が必要な場合、修理やメンテナンスは弊社の承認のもと行う必要があり、承認を経ずに交換したり、《Ultra Bee シリーズ使用説明書》保証に含まれていないパーツの場合適用外になります。

保障の制限

この保証条件は以下に起因する故障には適用されません：

1. 車体関連の説明書に従って適切な操作もしくはメンテナンスがされていない場合。
2. 弊社純正品以外のパーツもしくは中古のパーツへの変更、交換、取付
3. 事故、衝突、破壊行為、不適切な操作、乱用、過失および競技試合もしくはそれに同等する乗車による損傷。
4. 弊社純正品以外のモーター、モーターコントローラー、バッテリーの改造、交換、取り付け。
5. 通常の消耗パーツ、定期的なメンテナンス、使用や経年劣化によるパーツ交換などにかかわるパーツ。また、下記パーツも保証の対象にはなりません：タイヤ、ブレーキパッド、ディスクブレーキ、チェーン、ブリップ、スイングアーム保護ブロック、ベルト、全てのプーリー、全てのスプロケット・ベアリング・シールパーツ、ペダル、シート
6. エラーコードが表示されている状況下で走行したことによる損傷、故障や性能問題。
7. 車体に不適切な化学剤を使用した場合。
8. 非純正の電子機器を取り付けたことによる損傷、故障、性能問題。

弊社が認定していない車両または付属品には適用されません。転売目的での購入はできません。もし、弊社が転売目的の購入と判断した場合、弊社はお客様の注文および保証サービスを拒否、またはキャンセルする権利を有します。

車両所有者の責任

1. 《Storm Bee シリーズ使用説明書》に記載されているスケジュール表に従って車両をメンテナンスしなければなりません。
2. 所有者は、定期的なメンテナンスをし、メンテナンス不足または不適切なメンテナンスによる故障は保証の対象外となります。
3. もし修理が必要な場合は、必ず正規販売店で修理を行ってください。その際に、以下のメンテナンス書類を要求されることがあります：サービスの日付と完了した特定の保守項目を示す保守記録、保守注文書と領収書のコピー、バッテリーの履歴データおよび所有者のメンテナンスにかかわるパーツの明細書（交換部品の領収書を含む）等。これらを提出し、保証サービスが完了となります。
4. もし車両を販売や貸し出し、その他の方法で人に譲る場合は、《Storm Bee シリーズ使用説明書》と、安全警告に関するすべて、保証内容を伝えて下さい。
5. もしパーツに不具合を発見した場合は、10日以内に購入販売店に連絡してください。正規販売店はまず、関連のパーツを弊社に返却するか確認する必要があります。すべての修理作業は必ず正規販売店が行ってください。
6. Storm Bee に乗る際には、各国や地域が定めた法律を遵守してください。
7. 弊社は、車体の所有者から提出された修理パーツに関する最終処理の決定権を持ち、この保証に基づいて交換され、弊社に返却されたすべての部品およびコンポーネントの所有権は弊社に帰属します。

修理制限

本説明書に記載されている保証は、車両の保証にのみ適用されます。当社は、明示的、黙示的、またはその他の形式の保証を行うものではなく、他者に代わって他の義務または責任を負うことを想定または許可するものではありません。商品性または特定の目的への適合性の保証を含む、商品性のすべての黙示的保証は、本保証に記載されている保証期間に限定されます。この保証は、使用不能、車両価値の損失、利益または収益の損失、個人財産の損失または損害を含む、すべての継続的、間接的または懲罰的損害に対する責任にも適用されません。また、第三者の請求についても責任を負いません。

弊社は、車両や動力システム、製品のその他の設計をいつでも変更または改善する権利を留保し、また、すでに弊社が製造や販売した製品を変更する義務を負うことはありません。一部の地域および法域では、偶発的または間接的な損害の除外や制限、黙示の保証または条件期間の除外や制限を認めておらず、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。この明示的な限定保証は、お客様に具体的な法的権利を与えるものであり、地域または管轄区域によって異なるその他の権利を有する場合があります。また、ここに記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。

アフターメンテナンスの受けかた

アフターメンテナンスが必要な場合は、下記手順に従って行ってください：

1. 正規販売店の業務時間内に連絡をします。
2. アフターメンテナンスを要求する際は、該当する Ultra Bee と保証書を正規販売店に持って行く必要があります。
3. あなたの車両の故障内容が弊社のアフターメンテナンスの条件範囲に当てはまる場合、弊社は保証条件に従い無償のアフターメンテナンスを提供します。もし、それに当てはまらないと弊社が判断した場合は、有償となります。
4. 車体に不具合があると、転倒や衝突、人身事故などを引き起こす可能性があるため、すぐに正規販売店に連絡をしてください。

最後に：我々はできる限り早く修理作業の完了に努めておりますが、想定外の状況などによる作業の遅れに対して、責任を負いかねます。想定外の状況には以下も含まれます：パーツの不足、運送関連の遅延、不可抗力等。

100KM

車台番号	走行距離数	点検年月日
<p>アフターメンテナンス記録</p> <p><input type="checkbox"/>車両の作動状態・異音の有無 <input type="checkbox"/>車両低速・加速の状態</p> <p><input type="checkbox"/>ハンドル操作具合 <input type="checkbox"/>フロントフォーク</p> <p><input type="checkbox"/>ホイール(空気圧・タイヤの亀裂・損傷・摩耗・ネジの緩み・ベアリングがたなど)</p> <p><input type="checkbox"/>ブレーキ点検</p> <p><input type="checkbox"/>電気・保安装置点検(バッテリー・電気配線・スイッチ)</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>		
<p>その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等</p>		
<p>点検又は整備を実施した販売店</p>		

500KM

車台番号	走行距離数	点検年月日
<p>アフターメンテナンス記録</p> <p><input type="checkbox"/>車両の作動状態・異音の有無 <input type="checkbox"/>車両低速・加速の状態</p> <p><input type="checkbox"/>ハンドル操作具合 <input type="checkbox"/>フロントフォーク</p> <p><input type="checkbox"/>ホイール(空気圧・タイヤの亀裂・損傷・摩耗・ネジの緩み・ベアリングがたなど)</p> <p><input type="checkbox"/>ブレーキ点検</p> <p><input type="checkbox"/>電気・保安装置点検(バッテリー・電気配線・スイッチ)</p> <p><input type="checkbox"/>メンテナンス周期表にご参考 <input type="checkbox"/>その他</p>		
<p>その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等</p>		
<p>点検又は整備を実施した販売店</p>		

1000KM

車台番号	走行距離数	点検年月日
<p>アフターメンテナンス記録</p> <p><input type="checkbox"/>車両の作動状態・異音の有無 <input type="checkbox"/>車両低速・加速の状態</p> <p><input type="checkbox"/>ハンドル操作具合 <input type="checkbox"/>フロントフォーク</p> <p><input type="checkbox"/>ホイール(空気圧・タイヤの亀裂・損傷・摩耗・ネジの緩み・ベアリングがたなど)</p> <p><input type="checkbox"/>ブレーキ点検</p> <p><input type="checkbox"/>電気・保安装置点検(バッテリー・電気配線・スイッチ)</p> <p><input type="checkbox"/>メンテナンス周期表にご参考 <input type="checkbox"/>その他</p>		
<p>その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等</p>		
<p>点検又は整備を実施した販売店</p>		

2000KM

車台番号	走行距離数	点検年月日
<p>アフターメンテナンス記録</p> <p><input type="checkbox"/>車両の作動状態・異音の有無 <input type="checkbox"/>車両低速・加速の状態</p> <p><input type="checkbox"/>ハンドル操作具合 <input type="checkbox"/>フロントフォーク</p> <p><input type="checkbox"/>ホイール(空気圧・タイヤの亀裂・損傷・摩耗・ネジの緩み・ベアリングがたなど)</p> <p><input type="checkbox"/>ブレーキ点検</p> <p><input type="checkbox"/>電気・保安装置点検(バッテリー・電気配線・スイッチ)</p> <p><input type="checkbox"/>メンテナンス周期表にご参考 <input type="checkbox"/>その他</p>		
<p>その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等</p>		
<p>点検又は整備を実施した販売店</p>		

5000KM

車台番号		走行距離数		点検年月日	
<p style="margin: 0;">アフターメンテナンス記録</p> <p style="margin: 0;"> <input type="checkbox"/>車両の作動状態・異音の有無 <input type="checkbox"/>車両低速・加速の状態 <input type="checkbox"/>ハンドル操作具合 <input type="checkbox"/>フロントフォーク <input type="checkbox"/>ホイール(空気圧・タイヤの亀裂・損傷・摩耗・ネジの緩み・ベアリングがたなど) <input type="checkbox"/>ブレーキ点検 <input type="checkbox"/>電気・保安装置点検(バッテリー・電気配線・スイッチ) <input type="checkbox"/>メンテナンス周期表にご参考 <input type="checkbox"/>その他 </p>					
<p style="margin: 0;">その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等</p>					
<p style="margin: 0;">点検又は整備を実施した販売店</p>					

10000KM/12月

車台番号		走行距離数		点検年月日	
<p style="margin: 0;">アフターメンテナンス記録</p> <p style="margin: 0;"> <input type="checkbox"/>車両の作動状態・異音の有無 <input type="checkbox"/>車両低速・加速の状態 <input type="checkbox"/>ハンドル操作具合 <input type="checkbox"/>フロントフォーク <input type="checkbox"/>ホイール(空気圧・タイヤの亀裂・損傷・摩耗・ネジの緩み・ベアリングがたなど) <input type="checkbox"/>ブレーキ点検 <input type="checkbox"/>電気・保安装置点検(バッテリー・電気配線・スイッチ) <input type="checkbox"/>メンテナンス周期表にご参考 <input type="checkbox"/>その他 </p>					
<p style="margin: 0;">その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等</p>					
<p style="margin: 0;">点検又は整備を実施した販売店</p>					

仕様

仕様の詳細	STORM BEE F (オフロード*1)	STORM BEE E (公道版*2)
車台サイズ (全長・全幅・全高)	2080*805*1240mm	2120mm*805mm*1265mm
最低地上高	310	335
シート高	940	975
車両総重量 (バッテリー含む)	95kg/127kg	100kg/132kg
乗車人員+荷物の最大積載重量	100Kg	111Kg
ホイールベース	1430mm	
Fr.フォークトラベル	290mm	
Rr.ショック/ホイールトラベル	115/290mm	
パワートレイン	永久磁石式同期モーター	
定額出力/最大出力	10KW/22.5KW	
コントローラー冷却方式	水冷	
駆動輪の最大トルク	520N.m	
最高速度	110Km/h	
最大走行距離	120Km (@50Km/h)	
バッテリータイプ	104V53Ah 三元系リチウムイオン電池	
充電時間	4.5h	
フレームタイプ	アルミ合金鍛造	
走行モード	ECO/スポーツ/ターボモード/バックギア	
Fr.オフロードタイヤサイズ	80/100-21	
Rr.オフロードタイヤサイズ	100/90-18	
補助機能	ASR+BERS	

*1オフロード版：公道では一切走行できません。 *2公道版：保安部品が付帯 (必要免許:普通二輪免許以上)



保証書

購入者氏名：

住所：

電話番号：

車体番号：

コントローラー番号：

モーター番号：

バッテリー番号：

販売店名：

住所：

電話番号：

※販売店名、扱い者印を確認下さい。
保証書は再発行致しません。

車両購入日： 年 月 日

購入車両名：

保証修理受け方

- * 保証修理をお受けになる時は必ず保証書をご提示ください。
- * 保証書に必要事項の記載がない場合は補償の対象となりません。
- * 購入販売店に保証修理をお申し付けください (補償内容事項を確認の上)

